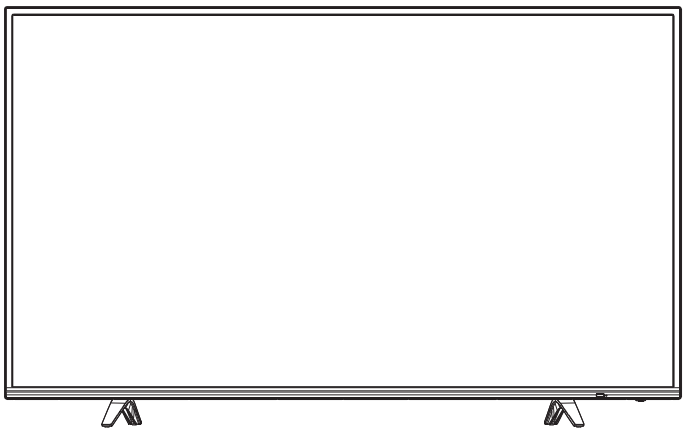
IRIS OHYAMA

室内・家庭用

地上／BS／110度CSデジタル
ハイビジョン液晶テレビ

LT-65A620／LT-55A620／LT-49A620／LT-43A620

取 扱 説 明 書



※ イラストはLT-65A620です。

この商品は海外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。
- この取扱説明書をよく読んで、正しく使用してください。
- **使用する前に「安全上の注意」を必ず読んでください。**
- この取扱説明書は使用する方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意 …… 2
使用上の注意 …… 4
主な特長 …… 5
各部の名称 …… 6

準備

リモコンの準備と使いかた …… 10
スタンドの取り付けと壁掛け …… 11
テレビを設置する …… 12
テレビを見る準備をする …… 15
録画の準備をする …… 16
外部機器を接続する …… 18
通信設定をする …… 21

使いかた

電源を入／切するには …… 22
テレビを見る …… 23
便利な機能を使う …… 26
文字の入力について …… 28
録画・予約をする …… 29
録画を再生する …… 33

取り扱いかた

サブメニュー …… 35
設定メニュー …… 36
映像設定メニュー …… 37
音声設定メニュー …… 40
通信設定メニュー …… 42
タイマー設定メニュー …… 42
機器設定メニュー …… 43
機器情報 …… 49

こんなときには

お手入れ …… 49
故障かな？と思ったら …… 50
保証とアフターサービス …… 53
仕様 …… 54

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味

注意を促す記号です。　禁止を示す記号です。　必ず行うことを示す記号です。

警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う

● 電源プラグのほこりは定期的に取る
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。

● 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災･感電の原因になります。

プラグを抜く

● お手入れや移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。

ぬれ手禁止

● ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。

● 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。
電源コードは、必ずのばして使用してください。

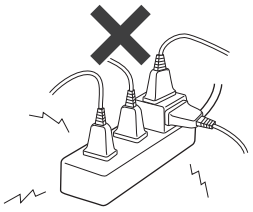
● 交流100V以外では使わない
● 海外で使用しない
火災・感電の原因になります。
本機は日本国内専用です。船舶の電源や発電機、電圧の異なる海外の電源では使用しないでください。

● 乳幼児に電源プラグをなめさせない
けがや感電の原因になります。

● 電源コードを傷つけない
● 電源コードを引っ張らない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

● 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、アイリスコールへお問い合わせください。

● コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない
火災の原因になります。



プラグを抜く

● 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
〔異常の例〕
- 異常な音や臭いがする、煙が出ている
- 内部に水や異物が入った
- 本機を落としたり、本機の一部を破損した
- 正常に動作しない（画面が映らない、音が出ない）
- 電源コードやプラグに傷がある

➡使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。

● 内部に異物や水分を入れない
水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
特にお子様のいるご家庭では注意してください。
- 通風孔から金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- 本機の上に水の入った容器や植木鉢、小さな金属類（安全ピンやヘアピンなど）を置かないでください。
- 水がかかるような場所では使用しないでください。

● 乾電池の液がもれたときは素手で液をさわらない
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、直ちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服に付いたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

● 通風孔をふさがない
布をかけたり、壁などに密接して、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因になります。
- 密閉したラックの中に入れないでください。
- じゅうたんや布団のような柔らかいものの上に置かないでください。
- 本機の設置は周囲から 10cm 以上の間隔を空けてください。

● 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。

● 不安定な場所に設置しない
ぐらついた台や傾いた台などに置くと、落下によるけがや家財の破損の原因になります。
水平で安定した場所に設置してください。また、ラックなどに載せて設置する場合は転倒防止の処置をしてください。

● 雷が鳴りだしたら電源プラグに触れない
感電の原因になります。

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

リモコンの電池についての注意

● 電池を入れるときは、極性表示（プラス+とマイナスーの向き）に注意し、説明書の通りに正しく入れる
間違えると、破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。

● 長期間使用しないときは電池を取り出しておく
液がもれて、火災やけが、周囲の汚損の原因になります。
液がもれた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。

● 分解しない
皮膚や衣服を損傷することがあります。

● 金属製の小物類と一緒に携帯・保管しない
ショートして液もれや破裂の原因になることがあります。

● 指定以外の電池は使用しない
過熱・破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になることがあります。

● 乾電池は絶対に充電しない
破裂・液もれにより、火災・けが・やけどの原因になります。

● 液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えたりしない
液晶パネルが割れてけがの原因になります。
液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症などの原因になります。
万一パネル内部の液体が口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。また、目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で最低15分以上洗浄した後、医師の診察を受けてください。

● 長期間使わないときは、電源プラグを抜く
絶縁低下による漏電により、火災・感電の原因になります。

● 湿気・ほこり・油煙・湯気の多い場所、直射日光の当たる場所では使用しない
火災や感電の原因になります。

使用上の注意

● miniB-CASカードについて
- 付属のminiB-CASカードは、デジタル放送を視聴していただくために、お客様に貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合は、直ちにB-CASカスタマーセンターへご連絡ください。(→P14)
  お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

● 4Kチューナーについて
- 本機にて4K放送を受信するには、別途4K放送受信用チューナーが必要です。また、当該4K放送受信用チューナーと本機の接続の可否については、購入前に確認してください。

● 本書の表記と内容について
- 本機の仕様及び機能などは、ファームウェアの更新などにより予告なく変更されることがあります。
- 本書に記載されている本体や画面などのイラストは実際とは異なる場合があります。実際に表示される画面で確認してください。

● 液晶パネルについて
- 液晶パネルには、画面の一部に欠点（黒い点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは故障ではありませんのでご了承ください。
- 液晶の特性により、室温が低い場合は、画像がぼやけたり、動きがスムーズに見えないことがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 液晶パネルはバックライトが発光することにより画像を表示していますが、バックライトには寿命があります。常温での使用時に画像が暗くなるようになったら、アイリスコールへご相談ください。

● 本機の温度について
- 本機は、長時間使用したときなどに、パネル表面や上部が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。また、熱で変形しやすいものを上に置かないでください。

● お手入れについて
- お手入れの際は、必ず本機及び接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ベンジンやシンナーは使わないでください。
  また、化学ぞうきんの使用は、注意書きにしたがって使用してください。
- 殺虫剤や揮発性のあるものをかけないでください。
  また、ゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長期間接触させないでください。
- 液晶パネルの保護のため、パネルに硬いものやとがったものを当てたり、強く押したりこすったりしないでください。傷・変色の原因になります。
- 液晶パネルの表面に、結露による水滴など液体が付着した状態で使用しないでください。色むら・変色の原因になります。

● 輸送・設置について
- 本体を横倒しにして輸送した場合、パネルガラスの破損や欠点の増加のおそれがありますので、横倒しで輸送しないでください。
- 本棚などの通気の悪い場所に設置するときは、本体と周囲との間に十分なスペースを空けてください。

● 廃棄するとき
- 本機は家電リサイクル法の対象製品です。家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの液晶テレビを廃棄される場合は、収集運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。
- 本機を廃棄するときは、個人情報の消去をしてください。
  (メニュー >「機器設定」>「システム設定」>「設定情報リセット」、→P48)
  (メニュー >「機器設定」>「視聴制限設定」>「暗証番号削除」、→P44)

主な特長

● 地上／ BS ／ 110度CSデジタルチューナー内蔵
- 本機は以下の3種類のデジタル放送を受信できます。
  地上デジタル放送
  BSデジタル放送
  110度CSデジタル放送
- 電子番組表（EPG）で視聴番組を選んだり録画予約をすることもできます。

アンテナについて
- 地上デジタル放送を受信するには、全帯域型または地上デジタル放送対応型のUHFアンテナが必要です。接続については12ページをご覧ください。
- BS ／ 110度CSデジタル放送を受信するには、BS・110度CS用アンテナが必要です。接続については12～13ページをご覧ください。
- ケーブルテレビまたは共聴・集合住宅施設でデジタル放送を受信する場合は、ケーブル事業者または共聴施設管理者にお問い合わせください。

● 外付けUSBハードディスクで録画に対応
- 市販の外付けUSBハードディスクを接続して、本機で受信した番組を録画して楽しむことができます。

● 4Kコンテンツに対応
- 4Kコンテンツを鮮やかに映しだします。4Kコンテンツ以外の映像も自動調整機能により高画質で楽しむことができます。

4K放送を視聴するには
- BS ／ 110度CSによる4K放送（新4K衛星放送）は、本製品に、4K放送視聴用の「対応チューナー」を追加することで視聴できます。

※ 右旋･左旋円偏波対応のアンテナ、混合器、分配器、分波器、ブースターなどに交換が必要な場合があります。

● 映像や音声を自在に調整
- 映像の「画面の明るさ」、「周囲の明るさ」、「色あい」、「色の濃淡」、「輪郭強調」や、音声の「低音」、「高音」、「サラウンド」、「バランス」などをお好みに合わせて調整できます。

● オンタイマー／オフタイマー
- 設定した時刻にお好きなチャンネルで電源を入れたり、設定した時間で自動的に電源を切ったりできます。

● HDMI端子で高品質な映像を再現
- HDMI対応のBD ／ DVDプレーヤーやHDDレコーダーなどのAV機器と接続して高品質な映像を楽しむことができます。

EWS（緊急警報放送）について

地上デジタル放送の視聴中に**EWS（緊急警報放送）**を受信すると、画面に「**緊急警報放送を受信しました**」と表示されます。このとき(決定)ボタンを押すと、緊急警報放送が視聴できます。このメッセージはチャンネルを変えても表示されます。表示中のメッセージを消すには(戻る)ボタンを押してください。

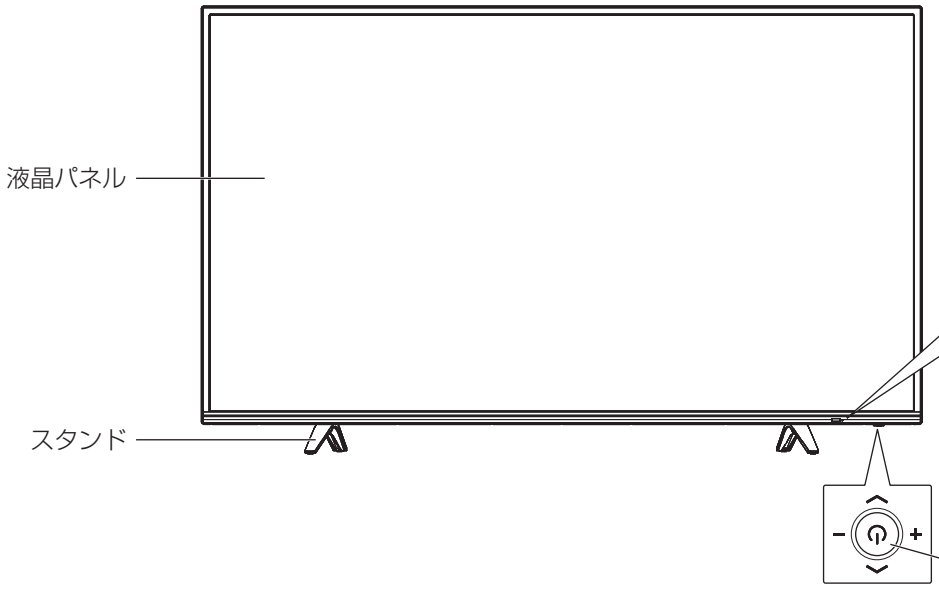
EWS（緊急警報放送）とは：地震や津波などの災害発生時に、特殊な信号を放送波に割り込ませることによってテレビやラジオなどの受信機から警報音（ピロピロ音）を出し、災害の発生と災害情報をいち早く知らせるための放送です。人命や財産に重大な影響を与える以下の3つの条件に該当する場合に行われます。

1）大規模地震など災害についての警戒宣言が発令された場合。
2）津波警報が発表された場合。
3）地方自治体の長より、避難命令など放送の要請があった場合。

本機は、地震や津波などの災害が発生した場合に行われる緊急警報放送の文字スーパー表示に対応しています。緊急警報放送の受信による自動起動には対応していません。

各部の名称

■ 本体前面

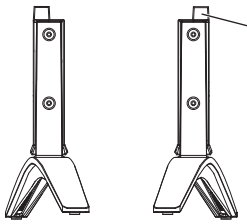


マルチ操作ボタン
入力切換などのとき、ボタンを奥側に押すと、カーソルは上に、ボタンを手前側に押すと、下側に移動します。

※ 機種によってボタンの位置が異なります。スタンドの内側にある場合もあります。

■ 付属品

スタンド×2



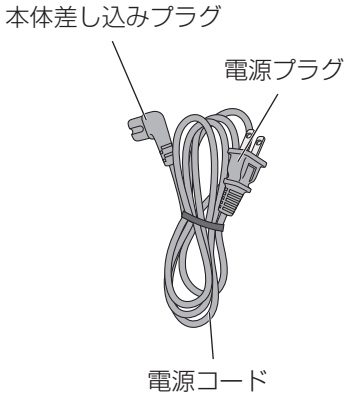
※ LT-43A620用には、突起はありません。

固定用ねじ×4

リモコン

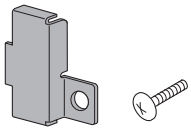
単4形乾電池×2
（テスト用）

電源コードセット



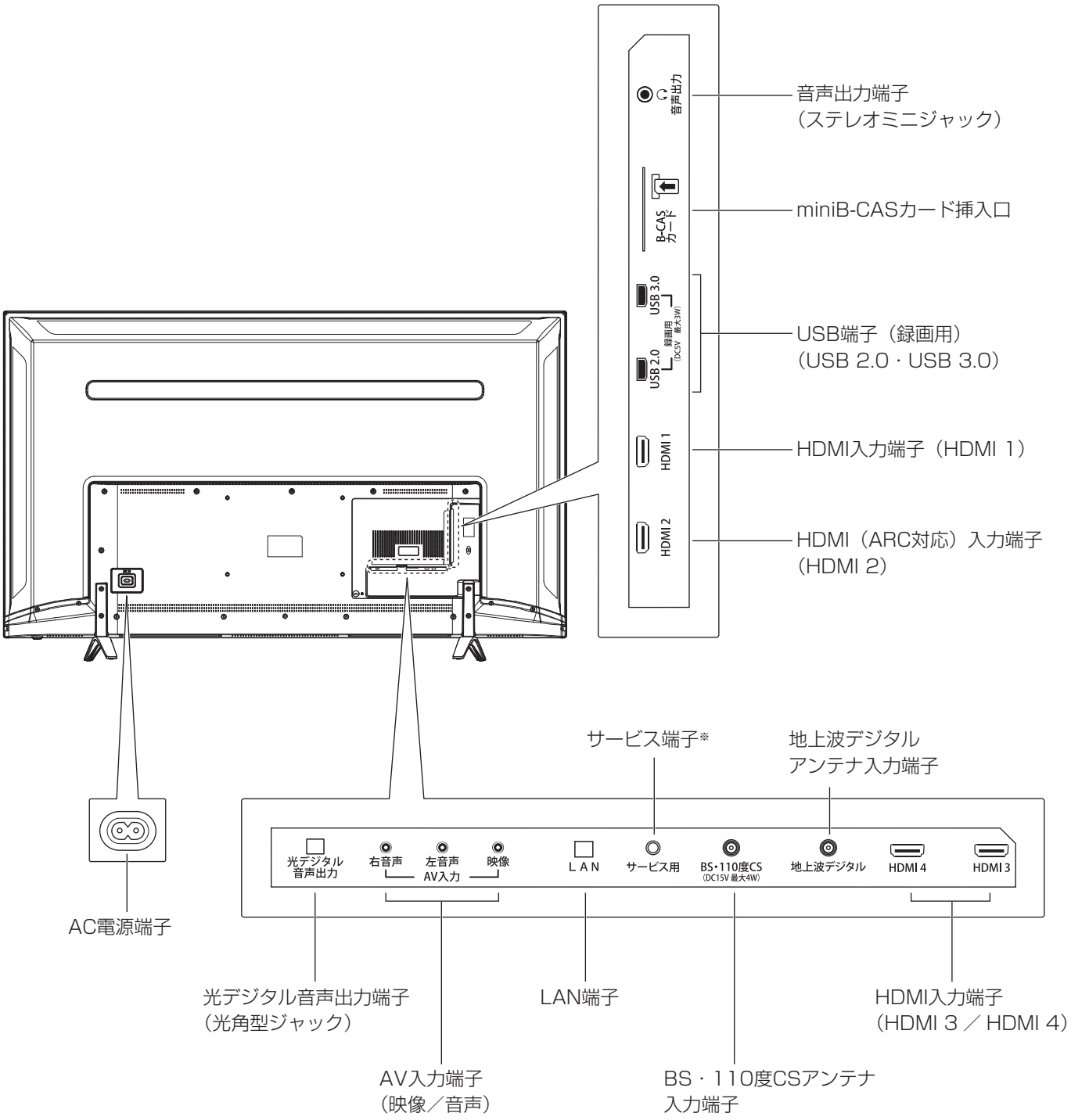
miniB-CASカード

miniB-CASカードスロットカバー



固定用ねじ×1

■ 本体背面



※ サービス端子は一般のお客様は使用できません。

各部の名称　つづき

■ リモコン

電源ボタン
テレビの電源を入／切します。

地デジボタン
地上デジタル放送を受信します。

サブメニューボタン
サブメニュー画面を表示します。（→P35）

音声切換ボタン
2カ国語／ステレオなど音声を切り換えます。
（→P26）

録画リストボタン
録画一覧を表示します。（→P33、34）

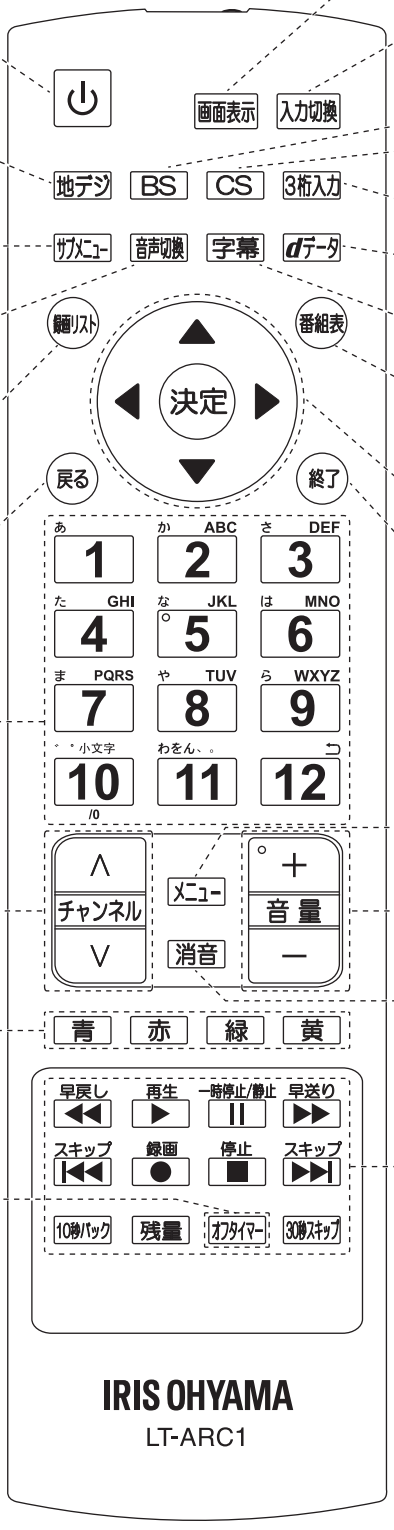
戻るボタン
メニュー画面で、1つ前の画面に戻ります。

数字ボタン
視聴するチャンネルを選びます。英数字・記号などの
入力にも使用します。

チャンネル∧∨ボタン
チャンネルを順に切り換えます。

カラーボタン（**青、赤、緑、黄**）
データ放送を利用する場合に使用します。
また、さまざまな機能ボタンとして使用します。

オフタイマーボタン
オフタイマーの設定ができます。（→P28）



画面表示ボタン
現在受信している番組の情報を表示します。
（→P27、34、45）

入力切換ボタン
テレビや接続した機器など、視聴する入力を切り換えます。（→P26、45）

BSボタン
BSデジタル放送を受信します。

CSボタン
110度CSデジタル放送を受信します。

3桁入力ボタン
3桁の数字でチャンネルを選局します。（→P23）

dデータボタン
データ放送を表示します。（→P25）

字幕ボタン
字幕を切り換えます。（→P26）

番組表ボタン
番組表をテレビ画面に表示します。
（→P23、25、30、31）

決定ボタン
メニュー画面の選択内容を決定します。

▲▼◀▶ボタン
メニュー画面で、カーソルを移動します。

終了ボタン
メニュー画面、入力切換、画面表示、番組表を消したいときに押します。

メニューボタン
メニュー画面を表示します。

音量＋／－ボタン
音量を調整します。

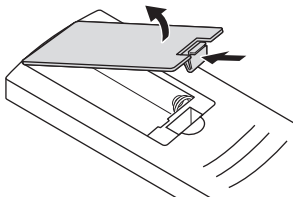
消音ボタン
音声を一時的に消します。もう一度押すと消音を解除します。（→P27）

録画／再生機能ボタン
外付けUSBハードディスクを接続して番組を録画や再生するときに使用します。（→P33）

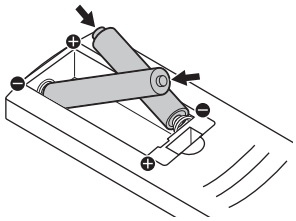
リモコンの準備と使いかた

1 リモコン裏側の電池カバーを外す

・つめの部分を押したまま、持ち上げてください。

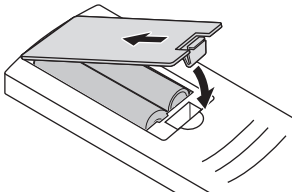


2 ⊕、⊖極の方向に注意して乾電池を入れる



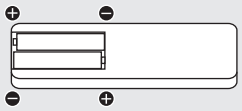
※ 乾電池は、被覆に傷が付かないように、図の矢印のように⊖側から入れてください。

3 電池カバーを元に戻す



注意

- 新しい乾電池と古い乾電池をまぜて使わないでください。電気が逆流して火災やけがの原因になります。
- 乾電池の入れ方が正しくないと、火災の原因になることがあります。

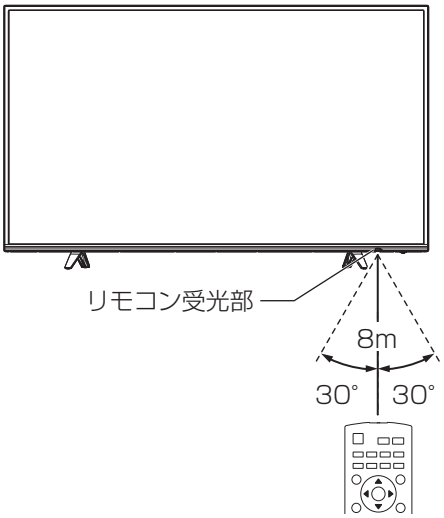


- 充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしないでください。
- 絶対に火の中に入れないでください。
- 直射日光の当たる場所に置かないでください。

- 乾電池の廃棄は、自治体の条例または規則にしたがってください。
- 長期間リモコンを使用しない場合は、乾電池を取り外してください。

リモコンで操作できる範囲

・本体前面のリモコン受光部の正面から約8m左右30˚の範囲で使用してください。



- リモコンと本体のリモコン受光部の間にものを置かないでください。

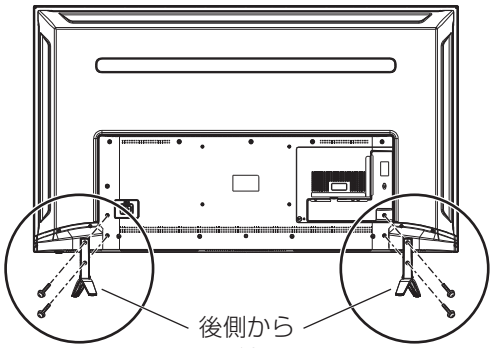
スタンドの取り付けと壁掛け

■ スタンドを取り付ける

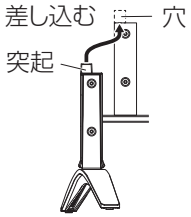
台などの上に設置する場合は、付属のスタンドを取り付けてください。
スタンドには、左用・右用があります。また、前後の向きに注意して取り付けてください。

1 台の上に毛布など柔らかい布を敷き、その上に液晶パネルを下向けにしてテレビを置く

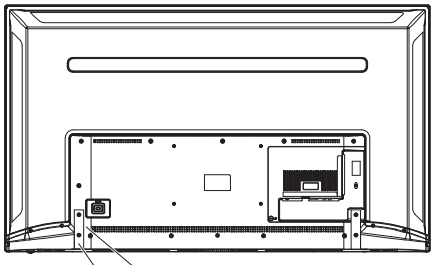
2 テレビ背面のスタンド取り付け位置（凹部）に、向きを合わせてスタンドを置き、付属のねじ（各2本）で固定する



・スタンド上端に突起が備わっているものがあります。その場合は、テレビ背面のスタンド取り付け部上部の穴に突起を差し込んでから、スタンドを固定してください。



・テレビのスタンド取り付け部と、スタンドには、左右の区別のために「A」「B」の記号が表示されています。記号が表示されている位置は、機種によって異なります。



■ 壁掛けで使用するとき

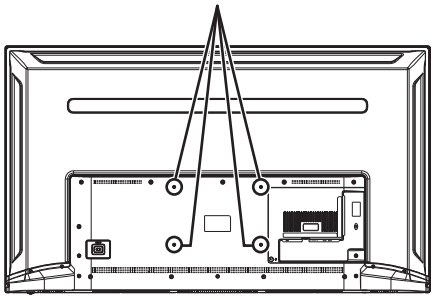
本機は市販の壁掛け金具を使用して、壁に取り付けることができます。

・テレビを取り付ける壁の強度には十分注意してください。

注意

● 壁掛け金具の取り付けは、必ず専門の業者に依頼してください。
専門の業者以外が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だったりした場合、テレビが落下して、大けがの原因になります。

壁掛け金具取り付け用ねじ穴



● 壁掛け金具については「仕様」を確認してねじ穴の寸法が合うものを購入してください。（→P54）

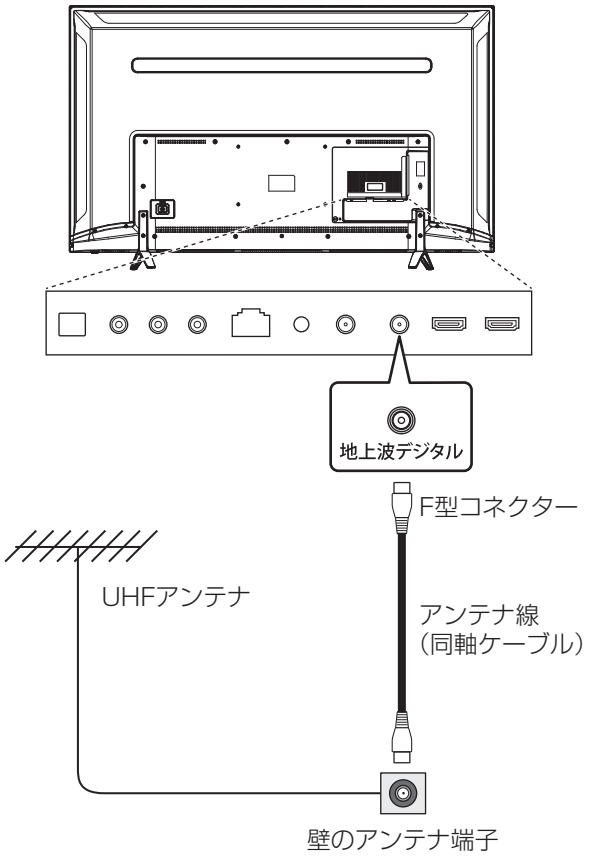
● 指定以上の長いねじは使用しないでください。内部の部品へダメージを与え製品を損傷します。

テレビを設置する

■ アンテナを接続する

地上デジタル用アンテナ線のつなぎかた

- 地上デジタル放送を視聴する場合は、地上デジタル対応型のUHFアンテナを使用してください。
- すでに設置してあるアンテナに新たにテレビを接続したり、新たにテレビを追加したりする場合は、ご使用になる場所やアンテナの設置状況によって、取り換えや調整、ブースターの設置などが必要になる場合があります。
- アンテナや、接続に必要なアンテナ線（同軸ケーブル）は付属していません。使用するアンテナの種類や使用環境条件に合わせて、適切なケーブルを使用してください。



● 信号の受信レベルは、天候の影響などにより変動します。
● アンテナレベルを確認し、アンテナの調整、ブースターの追加などを行ってください。
● ケーブルテレビで放送を受信している場合は、契約しているケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

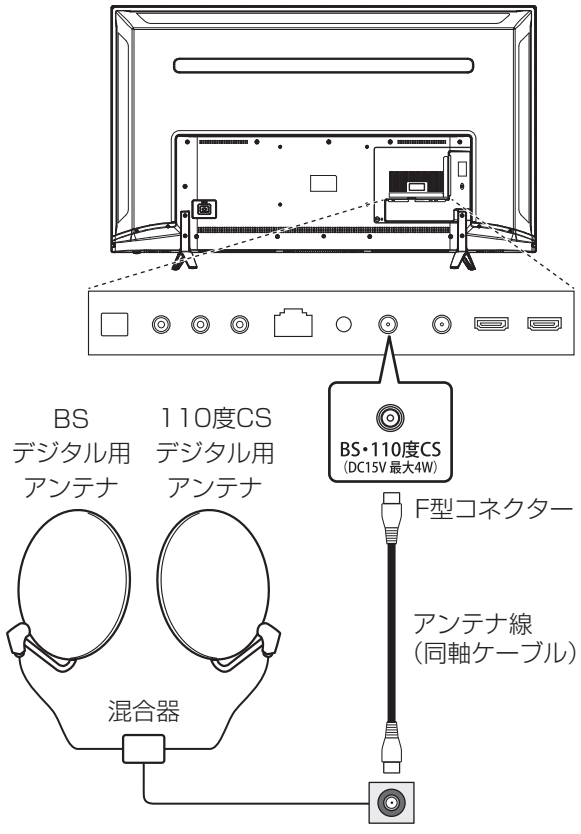
● アンテナを接続する前に、必ず本機及び接続している機器の電源を切り、電源プラグを抜いてください。
● アンテナ工事には技術と経験が必要です。アンテナの設置や調整については、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
● 一部のアンテナプラグは、形状によってはアンテナ端子への挿入が困難なものがあります。また、古いタイプのプラスチックケース型のコネクターは、ノイズが入る原因になるので使用しないでください。

BS・110度CSデジタル用アンテナ線のつなぎかた

- BSデジタル放送だけを受信する場合は、BSデジタル用アンテナを、110度CSデジタル放送だけを受信する場合は、110度CSデジタル用アンテナを使用してください。
- 両方のアンテナを使用する場合は、混合器を使用して1本のケーブルにまとめてから、テレビに接続してください。
- 本機とBSデジタル用アンテナ・110度CSデジタル用アンテナの接続には、BS・110度CSデジタル対応のケーブルを使用してください。
- 110度CSデジタル放送を受信して、ブースターやBS・110度CS用分配器を使用する場合は、110度CSデジタル放送（周波数2,150MHz）に対応した機器を使用してください。対応していない機器を使用した場合は、110度CSデジタル放送を受信できません。

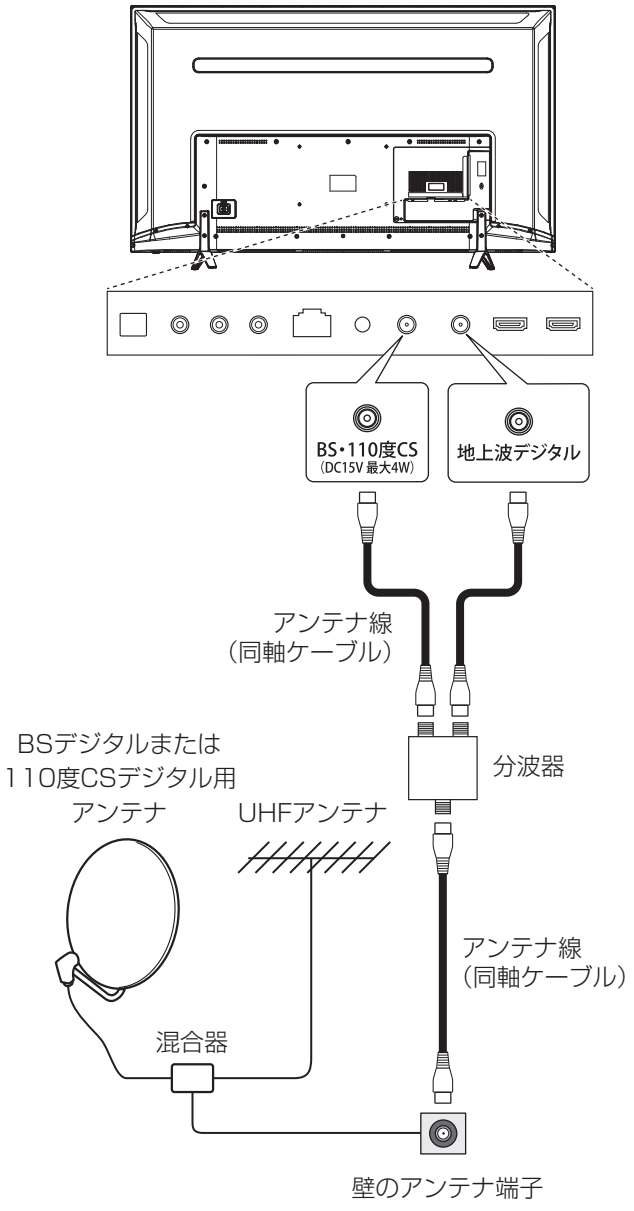
● 受信信号レベルは天候の影響などにより変動します。レベルが足りない場合は、ブースターなどを使用してください。
● BS・110度CSデジタル用アンテナには、必要に応じて、本機のアンテナ端子から電源を供給できます。アンテナへの電源供給の設定については、「かんたん設置設定」(→P15)で設定してください。

BS・110度CSデジタル用アンテナをつなぐとき

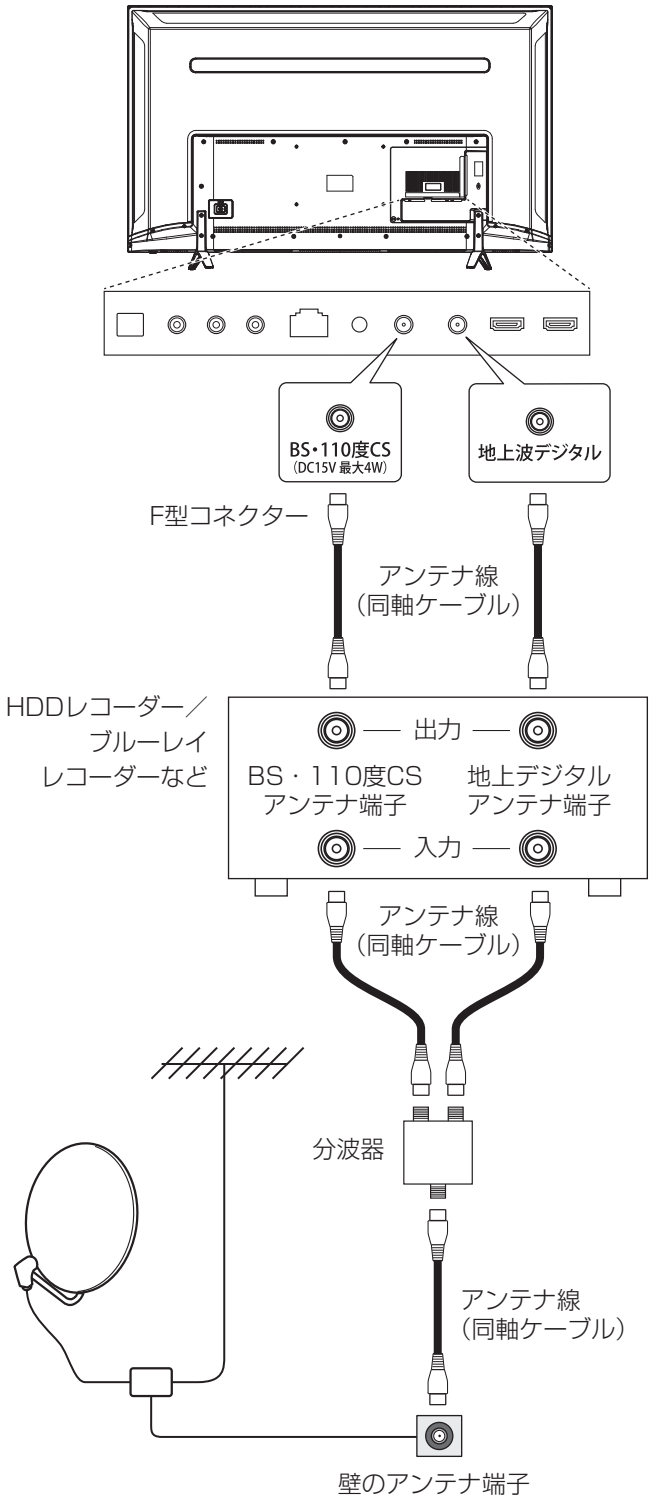


地上デジタルとBSデジタル・110度CSデジタルが、1本のケーブル（または1個の壁のアンテナ端子）にまとめてある場合

- 地上デジタル用アンテナと、BS・110度CSデジタルアンテナが、混合器を使用して1本のケーブル（1個の壁のアンテナ端子）にまとめてある場合は、分波器で2本のケーブルに分け、本機の地上デジタル用アンテナ端子とBS・110度CSデジタル用アンテナ端子に接続してください。



BSデジタル・110度CSデジタル用アンテナを、テレビとレコーダーに接続するとき



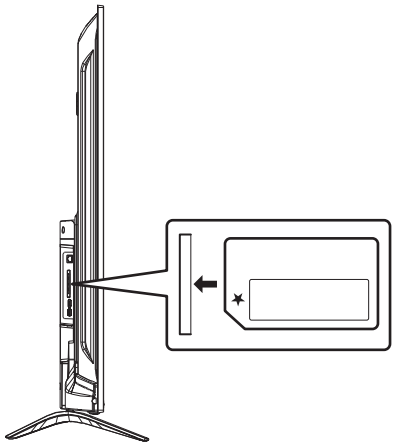
- テレビからアンテナへ電流を供給する場合があるため、必ず全方向電流通過型の分波器を使用してください。
- BS・110度CS機器を接続するときは、機器の取扱説明書をご覧ください。
- 将来110度CSデジタル放送でチャンネルが増えた場合、使用中のアンテナによっては、分波器が使用できないことがあります。

テレビを設置する　つづき

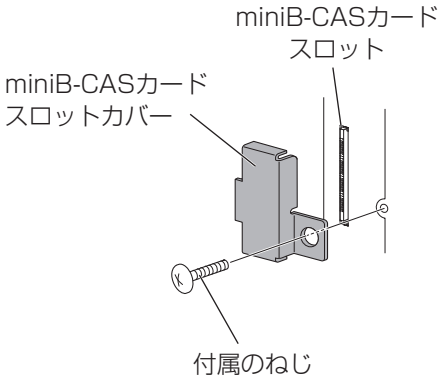
■ miniB-CASカードを入れる

- デジタル放送を視聴するには、B-CASカードが必要です。本機にはminiB-CASカードが付属しています。
- miniB-CASカードは、下図の向きで差し込んでください。

※ miniB-CASカードの金色の部分が汚れると、デジタル放送を受信できなくなることがあります。金色の部分に触れないでください。



- miniB-CASカードの外れ防止のために、付属のカバーを取り付けてください。



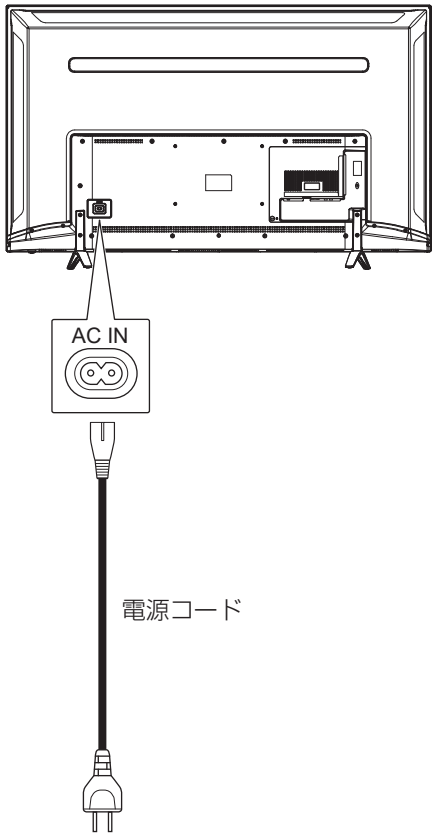
B-CASカードのお問い合わせについて

- B-CASカードについてはお問い合わせください。

B-CAS　カスタマーセンター（10:00 ～ 20:00 年中無休）
電話：0570-000-250　IP電話からは：045-680-2868

■ 電源を接続する

1 電源コードの本体差し込みプラグを、本体背面の電源コード差し込み口に差し込む

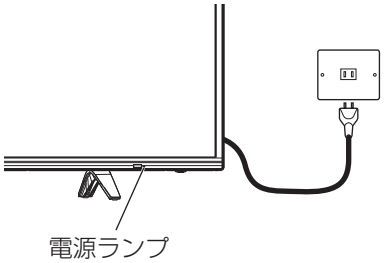


注意

- 付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。
- 電源プラグは、すぐに抜くことができるように、手の届く位置のコンセントに接続してください。

2 電源プラグをコンセントに差し込む

- テレビが待機状態になり、前面の電源ランプが赤く点灯します。



テレビを見る準備をする

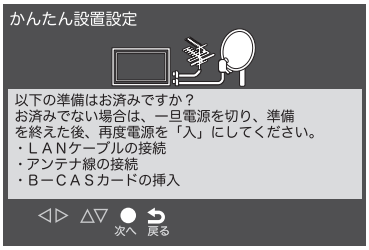
■ かんたん設置設定をする

お買い上げ後、miniB-CASカードを入れてはじめて電源を入れたときは、「かんたん設置設定」をリモコンで行い、お住まいの地域に適したチャンネルを設定してください。

※「かんたん設置設定」は、メニューを押し、▲▼で「機器設定」＞「かんたん設定」を選んでも設定できます。

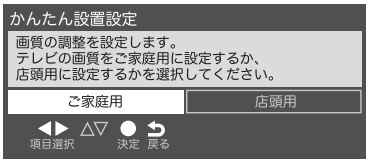
1 リモコンの⏻または本体底面のマルチ操作ボタンを押して電源を入れる

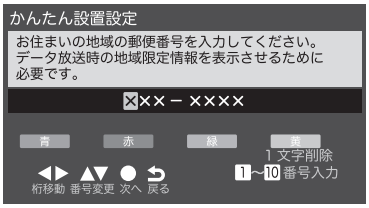
2 かんたん設置設定に進むので、決定を押す

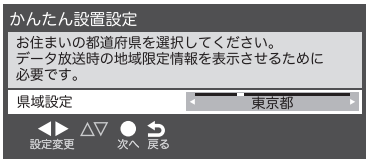


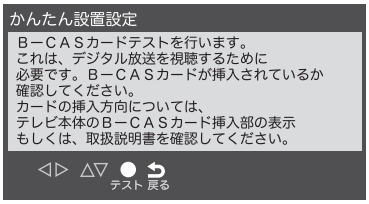
3 画面の表示にしたがって設定を行う

・▲▼◀▶決定で設定してください。

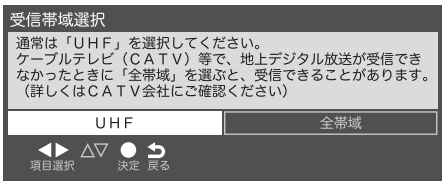






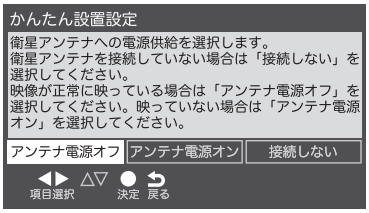


・受信帯域を選ぶ画面では、通常は「UHF」を選んでください。



※ チャンネルのスキャン終了後、チャンネルの設定を修正する場合は、47ページの「チャンネル設定修正」を参照して修正を行ってください。

・衛星アンテナを接続している場合は、電源供給の選択で「アンテナ電源オン」を選んでください。電源を供給する必要のないアンテナを使用している場合は「アンテナ電源オフ」を選んでください。



4 「かんたん設置設定はこれで終わりです。」と表示されたら決定を押す

● 戻るを押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。
● 設定された内容を変更したい場合は、メニュー＞「機器設定」＞「設置設定」で変更することができます。（→P47）

テレビを見る準備をする　つづき

■ アンテナの方向調整

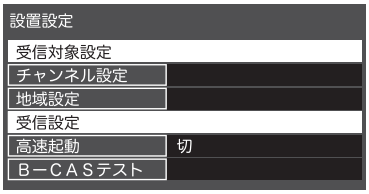
「かんたん設置設定」をしてもデジタル放送が正しく受信できなかったときは、お買い上げの販売店などにご相談のうえ、以下の操作でアンテナの方向調整をしてください。
以下は地上デジタル放送のアンテナの調整例です。

1 リモコンの⏻または本体底面のマルチ操作ボタンを押して電源を入れる

2 メニューを押し▲▼で「機器設定」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「設置設定」を選び、決定を押す

4 ▲▼で「受信設定」を選び、決定を押す



「受信設定」画面が表示されます。

5 ▲▼で「地上」または「衛星」を選び、決定を押す

・「地上」で地上デジタル放送のアンテナを、「衛星」で衛星デジタル放送のアンテナを調整できます。

・受信レベルが表示されます。

6 アンテナをゆっくり動かして、「受信レベル」の数値が最大になるように調整する

・「現在」に現在の受信レベル、「最大」に受信レベル表示中の最大のレベルが表示されます。

7 アンテナを固定して、決定を押す

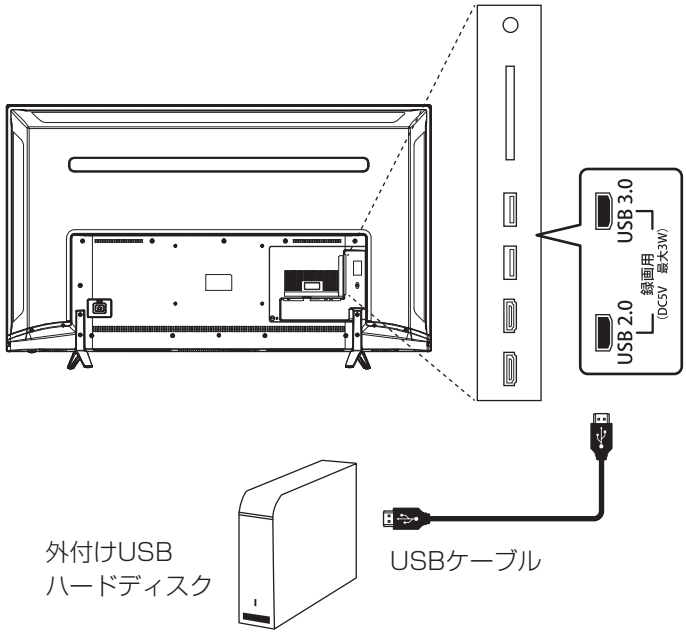
- 視聴中にサブメニューから「アンテナレベル」を選んで受信レベルを確認することもできます。
- 受信レベルが約40以下になると、映像が映らなかったり、途切れたりすることがあります。

録画の準備をする

本機に市販の外付けUSBハードディスクを接続すると録画や録画予約ができます。

■ 外付けUSBハードディスクを接続する

背面のUSB端子（録画用）に接続します。



- 本機に接続できる外付けUSBハードディスクの最大容量は4TBです。
- 本機に接続できる外付けUSBハードディスクについては、55ページをご覧ください。
- 本機には8台までの外付けUSBハードディスクを登録でき、そのうちの2台の外付けUSBハードディスクを接続しておくことができます。
- 本機にはUSBハブは使用できません。

- パソコンで使用していた外付けUSBハードディスクを本機に接続して登録すると、保存していたデータはすべて消去されます。
- 外付けUSBハードディスクの動作中は、外付けUSBハードディスクの電源を切ったり、USBケーブルを抜いたりしないでください。保存した内容が消えたり、ハードディスクが故障したりする原因になります。
- ポータブルタイプの外付けUSBハードディスクは正常に動作しない場合があります。必ずACアダプターで駆動するタイプのハードディスクを使用してください。

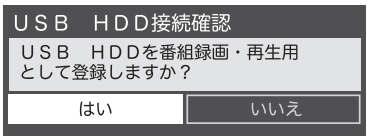
※ 外付けUSBハードディスクの設定は、他の外付けUSBハードディスクで録画中はできません。録画が終了してから行ってください。

■ 外付けUSBハードディスクを登録する

外付けUSBハードディスクをはじめて接続するときは、フォーマットが必要です。フォーマットをしないと録画できません。

1 リモコンの⏻または本体底面のマルチ操作ボタンを押して電源を入れる

2 「USB HDD接続確認画面が表示されるので、◀▶で「はい」を選び、決定を押す

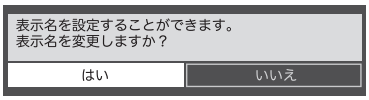


3 このテレビでのみ再生可能であることの確認画面で◀▶で「はい」を選び、決定を押す

4 フォーマットの確認画面で、◀▶で「はい」を選び、決定を押す

・フォーマットと登録が始まります。

5 表示名を変更する場合は、◀▶で「はい」を選び、決定を押す



・変更する必要のない場合は「いいえ」を選びます。「はい」を選んだ場合は、文字入力画面が表示されるので、表示名を入力して決定を押します。半角24字まで入力できます。文字入力画面については、28ページをご覧ください。
・外付けUSBハードディスクを複数台接続したときは、「外付けUSBハードディスクの設定をする」（→P17）で録画用にするハードディスクを設定してください。

注意
- 録画中及び録画予約が設定されているときは、本機や外付けUSBハードディスクの電源プラグやUSBケーブルを抜かないでください。
- 本機でフォーマットして登録した外付けUSBハードディスクは、本機以外のテレビやパソコンなどでは利用できません。

■ 外付けUSBハードディスクの設定をする

登録した外付けUSBハードディスクの設定の変更、取り外しのための設定及び登録の削除などができます。

1 メニューを押して、「機器設定」→「USB機器管理」と選ぶ

・USB機器一覧が表示され、接続状態、表示名、録画可能時間などを確認できます。

2 設定するUSB機器を▲▼で選び、以降の手順で設定する

※USB機器が複数表示されるときは、▲▼で選んだ後、決定を押すと、「録画用」と表示されて、登録が完了します。

取り外すとき

・青（取り外し）を押します。登録した機器を取り外すときは、必ずこのボタンを押します。

●本機に接続した外付けUSBハードディスクは、必ずこの操作を行ってから取り外してください。この操作を行わなかった場合、次回接続したときに、機器の認識に時間がかかったり、本機の動作が不安定になったりする可能性があります。

機器の詳細を確認するとき

・赤（機器詳細）を押すと、登録した機器のメーカー名や容量などが表示されます。

登録を削除するとき

・黄（登録削除）を押し、◀▶で「はい」を選び、決定を押します。

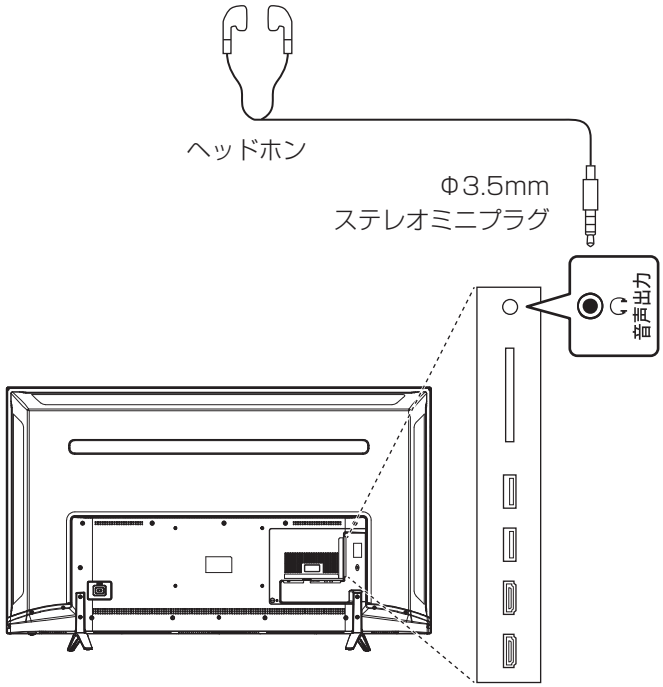
表示名を変更するとき

・緑（表示名変更）を押し、文字入力画面で入力します。赤（終了）を押すと元の画面に戻ります。詳しくは文字入力画面をご覧ください。（→P28）

外部機器を接続する

■ ヘッドホンで聴く

・ ヘッドホンのプラグ（3.5mmステレオミニプラグ）を、背面の音声出力端子に接続します。



注意

● ヘッドホンの音量を上げすぎないでください。
聴力障害の原因になります。

● 「音声同時出力」の設定が「しない」に設定されているときは、ヘッドホンを接続すると、テレビ本体のスピーカーの音声は出ません。
● 両方から音声を出すには、メニュー ＞「音声設定」＞「音声同時出力」の設定を「する」にしてください。（→P41）
● 「音声同時出力」の設定を「する」にしたときは、ヘッドホンの音量は メニュー ＞「音声設定」＞「ヘッドホン音量」で調節します。（→P41）

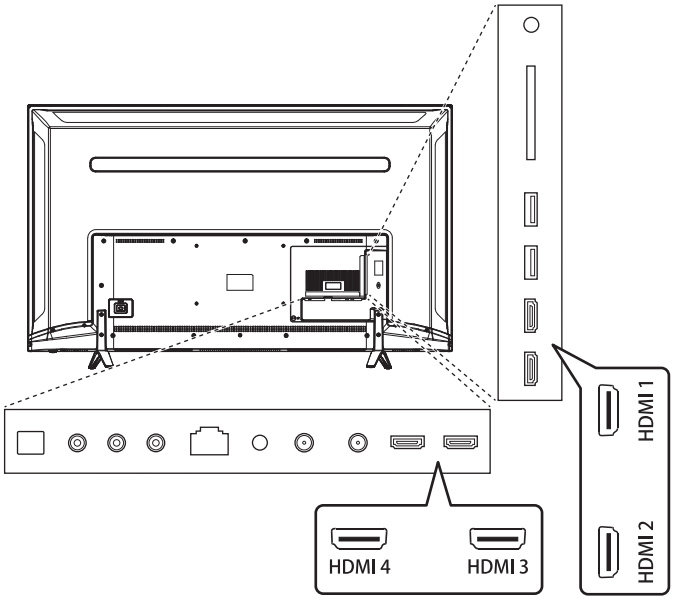
■ 外部機器の映像と音声を本機で再生する

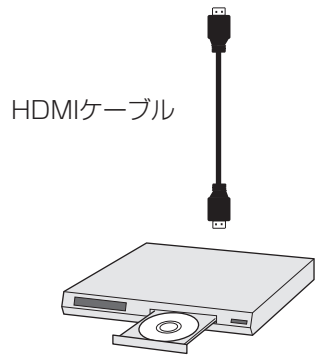
DVDプレーヤー、ブルーレイプレーヤー、ビデオカメラ、ゲーム機、オーディオ機器などを接続して、本機で映像・音声を楽しむことができます。
高精細・高画質の映像を楽しむには、HDMI入力端子に接続してください。

● 接続する機器の取扱説明書を確認の上接続してください。
● プラグは奥まで完全に差し込んでください。不完全だとノイズの原因になります。
● 接続に使用するケーブルは付属していません。あらかじめ接続する機器を確認の上、適切なケーブルを準備してください。

HDMI入力端子を使用する場合

・ デジタル信号のまま映像と音声を入力できます。HDMI出力端子のある機器と、HDMIケーブルで接続してください。





ブルーレイプレーヤーなど

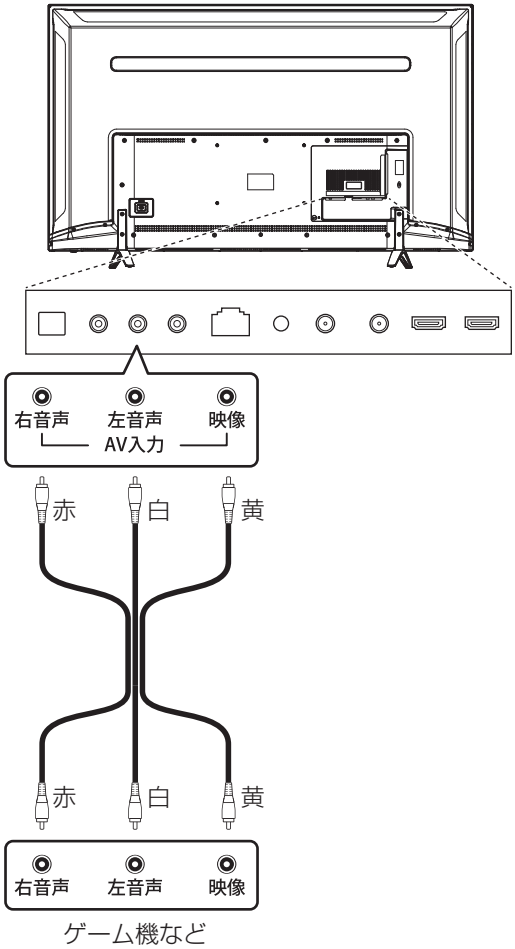
※ HDMIの標準技術規格に対応した機器を使用してください。
※ ※HDMIで接続した機器は、本機のリモコンで操作したり、電源を連動して入／切したりすることができるものがあります。メニュー ＞「機器設定」＞「HDMI設定」で各設定を行ってください。（→P46）

4Kチューナーを接続する場合

- 4K放送を受信して本機で映像・音声を楽しむためには、4Kチューナーを用意して4KチューナーのHDMI出力端子と、本機のHDMI入力端子を、HDMIケーブルで接続してください。
- HDMIケーブルは、「プレミアムHDMIケーブル」に認証されたものを使用してください。

AV入力端子を使う場合

- ゲーム機・ビデオカメラなどAV出力端子を持つ機器と、AV（RCA）ケーブルで接続します。左音声（白）・右音声（赤）・映像（黄）、それぞれ同じ色の端子同士を接続してください。

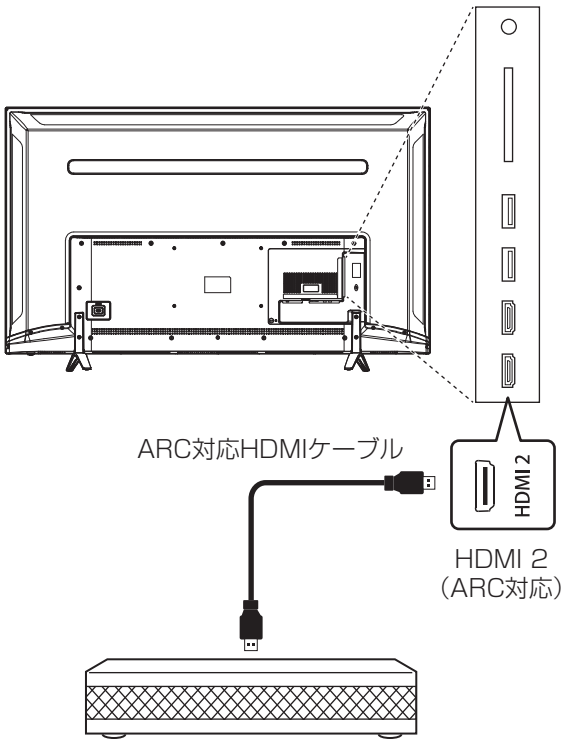


ゲーム機など

■ オーディオ機器に音声を出力する

テレビ用スピーカーを接続する（HDMI端子）

- ARC対応のHDMI端子を備えたテレビ用スピーカーなどの外部機器に、音声を出力する場合は、本機のHDMI 2入力端子（ARC対応）と、外部機器のARC対応HDMI端子を、ARC対応のHDMIケーブルで接続してください。



ARC対応テレビ用スピーカーなど

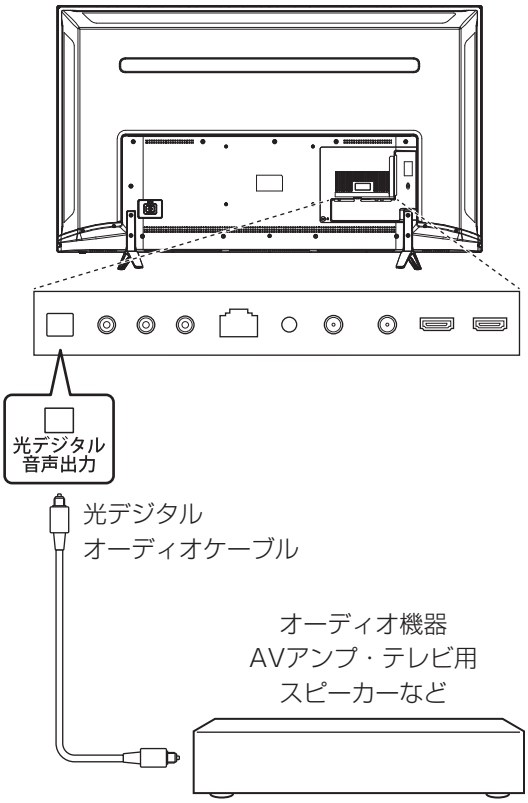
- 接続したスピーカーから音声を出力するためには、サブメニュー＞「HDMI機器設定」＞「スピーカー選択」で「外部」を選んでください。（→P35）
- スピーカーの音量はテレビのリモコンで操作することができるようになります。
- メニュー＞「音声設定」＞「音声同時出力」で「する」に設定すると、リモコンではテレビ本体のスピーカーの音量調節になり、外部スピーカーの音量は外部スピーカー自身の音量調節で設定します。（→P41）

外部機器を接続する　つづき

オーディオ機器を接続する（光デジタル音声出力）

- オーディオ機器にデジタル音声を出力するには、光デジタルオーディオケーブルで、本機の光デジタル音声出力端子と、オーディオ機器の光デジタル音声入力端子を接続してください。

※ 光デジタルオーディオケーブルの端子は、角型とミニの2種類があります。接続する機器を確認して、適切なケーブルを用意してください。（本機の端子は角型です。）



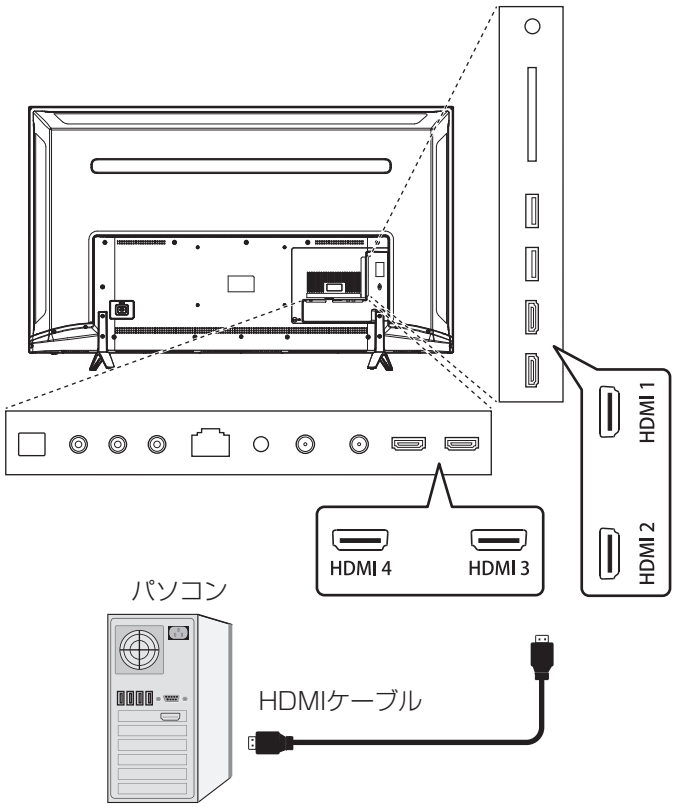
- オーディオ機器で音声を再生する場合は、テレビから音声が出ないように、メニュー>「音声設定」>「音声同時出力」で、「なし」に設定してください。
- 接続するオーディオ機器が対応しているデジタル音声入力にしたがって、メニュー>「音声設定」>「デジタル音声出力」で出力する音声信号を設定してください。（→P41）
  AVアンプなどでサラウンド音声を再生するためには、「自動」または「ビットストリーム」に設定してください。ステレオのミニコンポや、レコーダーなどに出力する場合は、「PCM」に設定してください。

■ パソコンのモニターとして使用する

- パソコンのHDMI出力端子と、本機のHDMI入力端子を、HDMIケーブルで接続してください。

※ HDMI出力端子のないパソコンでも、変換ケーブルなどを使用すれば、映像を表示することができる場合があります。

※ パソコンによっては、本機で映像を表示できるように、解像度・周波数などの設定を行ってください。（通常は、パソコンがモニターとして本機を識別して、解像度・周波数などを自動で設定します。）



通信設定をする

ネットワークに接続すると、双方向データ放送や独立データ放送などを楽しむことができます。
- 本機背面のLAN端子と、ネットワークにつながったハブなどのLANポートを、LANケーブルで接続します。
- LANの接続後、以下の通信設定を行ってください

■ ネットワーク接続の設定

1 リモコンの⏻または本体底面のマルチ操作ボタンを押して電源を入れる

2 メニューを押し▲▼で「通信設定」を選び、決定を押す

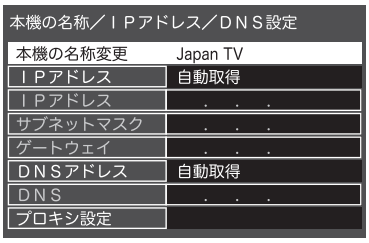
・「通信設定」画面が表示されます。

3 ▲▼で「ネットワーク接続」を選び、決定を押す

4 「かんたん設定」または「詳細設定」を選び、決定を押す

・「詳細設定」を選んだ場合は手順**5**に進みます。

5 以下の手順にしたがって設定する



本機の名称変更

・ネットワーク上で表示する本機の名称を変更できます。「文字を入力について」（→P28）をご覧になって、文字を入力してください。

IPアドレス

インターネットに接続するために本機に割り当てられる、固有の番号を設定します。

※「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」も、「手動設定」に設定されます。その場合は、DNSアドレスを手動で設定してください。

1 ▲▼で「IPアドレス」を選び、決定を押す

2 IPアドレスを自動取得できる場合は、▲▼で「自動取得」を選ぶ

IPアドレスを自動取得できないネットワーク環境の場合

① ▲▼で「手動設定」を選ぶ
② ▲▼で「IPアドレス」を選び、1～10/0で入力する
③ ▲▼で「サブネットマスク」を選び、1～10/0で入力する
④ ▲▼で「ゲートウェイ」を選び、1～10/0で入力する

・②～④では0 ～ 255の範囲の数字（左端の欄は0以外）を4箇所の欄に入力します。
・▲▼◀▶で項目を選び、1～10/0で番号入力、黄で削除、決定で設定完了します。

3 決定を押す

DNSアドレス

ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持ち、IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

※「IPアドレス」を「手動設定」にした場合は、「DNSアドレス」は「手動設定」になり、「自動取得」にはできません。DNSアドレスは手動で設定してください。

1 ▲▼で「DNSアドレス」を選び、決定を押す

2 DNSアドレスを自動取得できる場合は、▲▼で「自動取得」を選ぶ

DNSアドレスを自動的に割り当てられないネットワーク環境の場合

① ▲▼で「手動設定」を選ぶ
② ▲▼で「DNS」を選び、1～10/0で入力する

・②では0 ～ 255の範囲の数字（左端の欄は0以外）を4箇所の欄に入力します。
・▲▼◀▶で項目を選び、1～10/0で番号入力、黄で削除、決定で設定完了します。

3 決定を押す

通信設定をする　つづき

プロキシ設定

インターネットとの接続時にプロキシ（代理）サーバーを経由する場合に設定します。

- ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定してください。
- ここでのプロキシ設定はHTTPに関するものです。

1 ▲▼で「プロキシ設定」を選び、(決定)を押す

2 ▲▼で「アドレス」を選び、(決定)を押す

3 HTTPプロキシアドレスを入力し、(決定)を押す

- 入力できる文字は半角英字／半角数字で、記号は半角です。

4 ▲▼で「ポート番号」を選び、[1]～[10/0]でポート番号を入力する

5 (戻る)を押す

■ ネットワーク状態を確認する

インターネットに正しく接続しているかどうかテストします。

「通信設定」画面で「ネットワーク状態」を選んで(決定)を押す

- 接続テスト結果が表示されます。

正しく接続されなかったときは

- 再接続確認を行ってください。再接続確認を行っても接続できないときは、「ネットワーク接続」からやり直してください。

電源を入／切するには

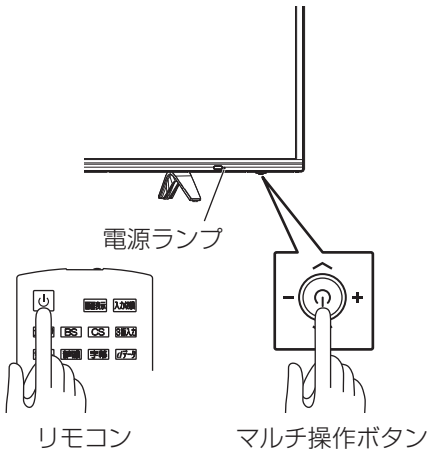
■ 電源を入れるには

リモコンの[⏻]または本体底面のマルチ操作ボタンを押す

- 電源が入り、本体前面の電源ランプが緑に点灯します。

※ 画面が表示されるまでしばらく時間がかかります。（最長13秒程度）

※ 設定によって、この時間をお短縮することができます。（[メニュー]＞「機器設定」＞「設置設定」＞「高速起動」で「入」を選んでください。）



■ 電源を切るには

リモコンの[⏻]を押す

または本体底面のマルチ操作ボタンの中央を3秒以上長押しする

- 待機状態になり、本体前面の電源ランプが赤に点灯します。

テレビを見る

■ テレビを視聴する

1 リモコンの⏻または本体底面のマルチ操作ボタンの中央を押して、電源を入れる

- 前面の電源ランプが緑色に点灯します。
- 画面が表示されるまでしばらく時間がかかります。（最長13秒程度）。

2 視聴する放送を選ぶ

- 地デジ、BS、CS で地上デジタル放送、BS放送、110度CS放送を選びます。

3 視聴するチャンネルを選ぶ

リモコンの数字ボタンで選ぶ

- リモコンの数字ボタンで、設定されたチャンネルを選ぶことができます。

チャンネル∧∨ボタンで選ぶ

- リモコンのチャンネル∧∨ボタンを押すと、設定されたチャンネルが順番に切り換わります。

3桁のチャンネル番号で選ぶ

- 3桁のチャンネル番号でもチャンネルを選ぶことができます。3桁入力を押し、3桁入力画面で3桁のチャンネル番号を入力してください。（ｻﾌﾞﾒﾆｭｰを押し、「3桁入力選局」を選んでも、3桁入力画面が表示され、チャンネルを選ぶことができます。）

※ いずれの方法でも、設定していないチャンネルを選ぶことはできません。（ﾒﾆｭｰ>「機器設定」>「設置設定」>「チャンネル設定」）

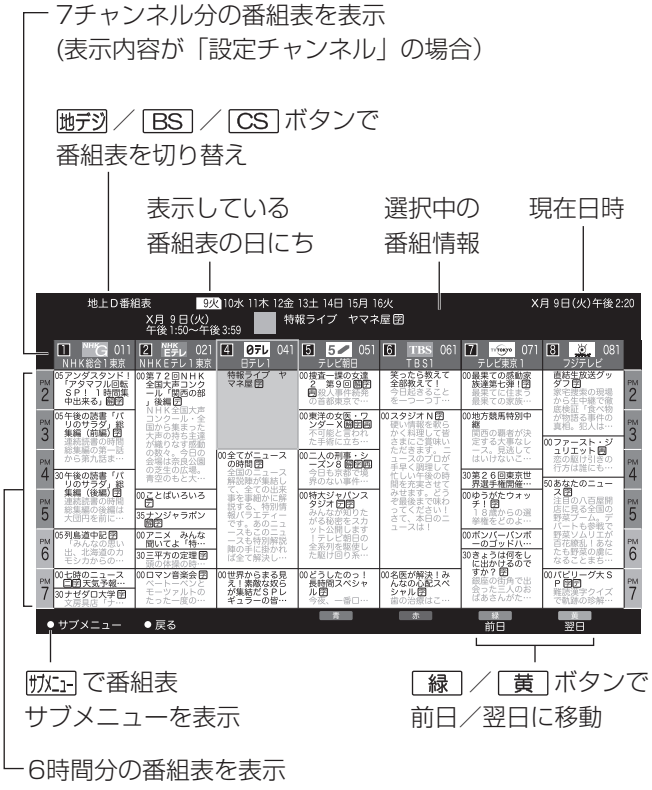
■ 番組表

デジタル放送では、放送局から送られてくる番組情報をもとに、新聞や雑誌などのテレビ番組欄のような放送局別の番組一覧を見ることができます。現在から最大7日先までの放送予定を確認できます。

番組表を表示するには

番組表を押す

- 視聴中の放送の番組表が表示されます。
- 放送の種類を変更するには地デジ、BS、CSのいずれかを押します。
- 番組を選んで決定を押すと、番組の詳細情報を表示します。

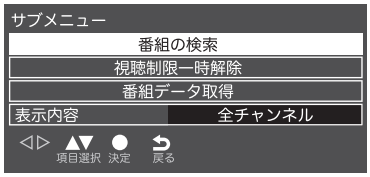


番組表を消すには

戻る、番組表または終了を押す

■ 番組表サブメニュー

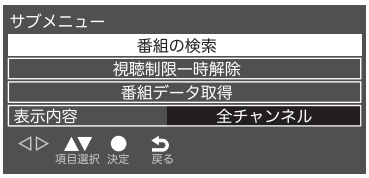
番組表の表示中にサブメニューを押すと、番組表サブメニューが表示されます。



番組の検索

検索条件を指定して番組を探すことができます。

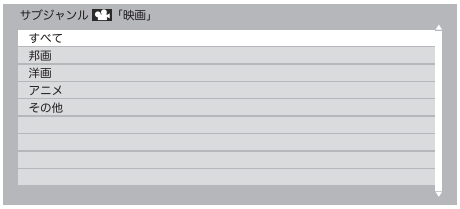
1 ▲▼で「番組の検索」を選び、決定を押す



2 「ジャンル検索」を選び、決定を押す

3 ▲▼でジャンルを選び、決定を押す

4 ▲▼でサブジャンルを選び、決定を押す



- 検索結果が表示されます。
- 現在放送中の番組を見る場合は、「今すぐ見る」を選んで決定を押してください。
- 視聴したい番組を予約するには、▲▼で番組を選んで決定を押し、▲▼◀▶で「視聴予約」を選んで決定を押してください。

視聴制限一時解除

視聴制限設定で設定した視聴制限を一時的に解除できます。

- 視聴制限設定で設定したパスワードの入力を求められます。
- 電源を切ると、視聴制限は元に戻ります。

番組データ取得

番組データが表示されていない場合に、データを取得します。

- 番組データが表示されていない番組を選び、サブメニューで「番組データ取得」を選んで決定を押してください。

表示内容

番組表に表示するチャンネルを設定することができます。

▲▼で「表示内容」を選び、◀▶で項目を選んで、決定を押す

- 表示チャンネルが切り換わります。

全チャンネル：番組表に、受信可能なチャンネルすべてを表示します。

テレビのみ：番組表に、受信可能なテレビチャンネルすべてを表示します。

設定チャンネル：番組表に、最初の設置設定で設定したチャンネルのみ表示します。

※ 表示内容については、メニュー>「機器設定」>「その他の設定」>「選局対象」で設定することもできます。(→P49)

■ 番組表で視聴予約する

番組表で番組を選んで視聴予約することができます。

● 視聴予約を設定後、電源を切ると、予約された時刻になっても自動で電源は入りません。
設定時刻になる前に再度電源を入れると、設定した時刻に予約番組に切り換わります。

視聴予約するには

1 テレビの視聴中に番組表を押す

・ 番組表が表示されます。

2 ▲▼◀▶で予約したい番組を選び、決定を押す

3 番組説明を確認して、◀▶で「視聴予約」を選び、決定を押す

・「予約が完了しました」のメッセージが表示され、番組表の予約した番組のボックスに青い予アイコンが付きます。
・ 現在放送中の番組は、「今すぐ見る」を選んでください。

視聴予約を取り消すには

1 テレビの視聴中に番組表を押す

・ 番組表が表示されます。

2 ▲▼◀▶で予約削除したい番組を選び、決定を押す

3 番組説明を確認して、◀▶で「予約削除」を選び、決定を押す

・ 戻るを押して番組表を表示すると、予アイコンが消えているのが確認できます。

※ 番組の視聴中にサブメニューで予約一覧を表示し、予約番組を選択して予約を削除することもできます。（→P32）

■ データ放送を見る

データ放送とは

・ BSデジタル放送や地上デジタル放送では、映像や音声による通常のテレビ放送以外に、データ放送があります。
・ データ放送は「ニュース」や「天気」のように最新情報をタイムリーに提供するサービスと、放送中の番組に関連した情報をその時間帯のみ提供する番組連動型サービスがあります。

連動データ放送を楽しむ

テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

1 dデータを押す

・ 放送局により、表示される内容が異なります。
・ 画面に表示される操作指示にしたがって操作してください。

2 ▲▼◀▶で移動し、決定を押す

・ 指定した情報が表示されます。

3 dデータを押すと、通常の画面に戻ります

・ 終了を押しても終了します。

● 放送画面の操作説明などで、dデータボタンは「dボタン」、「データボタン」、「データ放送ボタン」と表示される場合があります。

デジタル放送の双方向サービス

インターネット回線を利用し、視聴者側が番組にクイズの解答を送信したり、リクエストをしたりできます。
地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。

● デジタル放送の双方向サービスを利用するには、本機背面のLAN端子にネットワークケーブルを接続して、「通信設定」でインターネットへの接続を設定する必要があります。（→P21）
● 放送データの取得中は、一部の操作ができないことがあります。

テレビを見る　つづき

■ 接続した機器を再生して、テレビで視聴する（入力切換）

本体背面の接続端子に接続したBDレコーダーやパソコンの映像・音声を、テレビで視聴することができます。

視聴する機器を切り換えるには

- 本体底面のマルチ操作ボタンを押すと、「入力切換」画面が表示され、入力が切り換わります。「入力切換」画面が表示されている間にマルチ操作ボタンを前後に押すと、入力を切り換えることができます。
- リモコンでは、入力切換を押すと「入力切換」画面が表示され、入力が切り換わります。続けて入力切換または▲▼を押すたびに入力が切り換わります。
- 入力を切り換えた後、2～3秒待つか、決定を押してください。

※ 入力を切り換えたときに、以下ような場合には「信号がありません。」と表示されます。
　テレビ放送の信号が受信されていない場合
　外部機器が接続されていない場合
　外部機器の電源が入っていない場合

※ 音量は、本機のリモコンの音量ボタン、または底面のマルチ操作ボタンの左右を押して調節します。

※ 接続した機器によっては、画面サイズの設定が必要です。（メニュー>「映像設定」>「画面の設定」>「画面サイズ切替」、→P39）

※「入力切換」画面で、使用していない入力を非表示にしてスキップしたり、入力の名称を変更したりできます。（メニュー>「機器設定」>「表示の設定」>「入力表示設定」、→P45）

便利な機能を使う

■ テレビの映像を静止させる

一時停止/静止 を押す

- 解除するときは 一時停止/静止 をもう一度押します。
- 映像が静止中でも音声は流れ続けます。
- 静止中は画面右上に 静止 が表示されます。

■ 字幕を表示する

- 字幕のある番組や入力を視聴中に、字幕を押すたびに字幕のオン・オフが切り換わります。

※ メニュー>「機器設定」>「表示の設定」>「字幕の設定」で設定した字幕が、放送に含まれていない場合は、字幕をオンにしても字幕は表示されません。（→P44）

※ 字幕放送番組は、番組表の説明に字のアイコンが表示されます。

■ 音声を切り換える

- 音声切換を押すたびに、音声が切り換わります。

● 視聴しているテレビや入力機器によって音声は異なります。
● 音声が1種類しかないときは、ボタンを押しても切り換わりません。

※ サブメニュー>「信号切換」>「音声」で音声を選ぶこともできます。

※ サブメニュー>「信号切換」>「二重音声」では、主音声・副音声を切り換えることができます。

※ 二か国語放送・二重音声放送のテレビ番組は、番組表に二のアイコンが表示されています。
　ステレオ音声の番組は、番組表にSSのアイコンが表示されています。

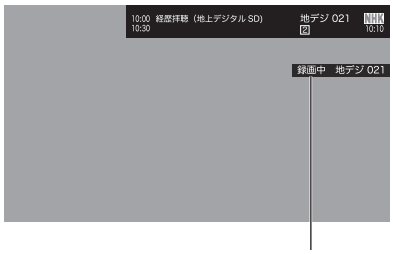
■ 音声を消す

- 消音を押すと、音声が消え、画面左下に🔇×が表示されます。

- 元に戻すには、もう一度消音を押してください。
- 音量＋ボタンを押しても音声が出ます。

■ チャンネル情報を見る

- 画面表示を押すと、現在受信中のテレビ番組の情報や、視聴中の入力の情報が表示されます。
- テレビを視聴中の場合は、チャンネル番号・放送局名・現在時刻・番組名・放送時間などが表示されます。



録画しているチャンネルの画面では
「録画中」と表示されます。

※ しばらくすると、番組名などの情報は消えて、チャンネルだけの表示になります。

- 表示を消すには、もう一度画面表示を押してください。

■ オンタイマーを使う

設定した時刻にテレビの電源が入り、設定した放送や入力、音量などで視聴できます。

※ オンタイマーは、デジタル放送を受信していない場合や、時刻情報を受信していない場合は、使用できません。

1 メニューを押す

2 ▲▼で「タイマー設定」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「オンタイマー」を選び、決定を押す

4 ▲▼で設定する項目を選び、決定を押す

※ オンタイマーが「入」になっているときは、設定を変更できません。オンタイマーを「切」にして設定してください。

オンタイマー

- オンタイマーを使用する、使用しないを設定します。

時刻

- 数字ボタンで、テレビの電源を入れる時刻を入力します。

音量

- オンタイマーで電源が「入」になったときの音量を設定します。
  ◀▶でお好みの音量を選びます。

放送／入力

- 決定を押してから、▲▼で「設定しない・地上D・BS・CS・HDMI 1・HDMI 2・HDMI 3・HDMI 4・ビデオ」から選びます。

チャンネル

- オンタイマーで電源が「入」になったときに、視聴するチャンネルを設定します。
  決定を押してから、▲▼でチャンネルを選びます。

チャンネル名

- 設定したチャンネルの放送局名が表示されます。

5 再度オンタイマーを「入」に設定してから、本機の電源を切る

便利な機能を使う　つづき

■ オフタイマー

オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、待機状態になります。

- オフタイマーを押すたびに、画面右下に「30分」「60分」「90分」「オフ（タイマー解除）」が表示され、オフタイマーがスタートします。
- サブメニューからも設定できます。

1 ▲▼で「オフタイマー」を選び、決定を押す

2 ▲▼で「90分」「60分」「30分」「オフ」から選び、決定を押す

● 電源が切れる約3分前になると、画面にメッセージが表示されます。
● リモコンのオフタイマーを押すと、残り時間が表示されます。ただし、続けてオフタイマーを押すと、設定が元に戻ってしまうことがあるので、注意してください。

※ オフタイマー以外に、無操作や無信号が続くと自動で電源を切るように設定することができます。（メニュー>「タイマー設定」>「無操作電源オフ」「無信号電源オフ」、→P42）

文字の入力について

外付けUSBハードディスクの表示名を変更したり（メニュー>「機器設定」>「USB機器管理」、→P17）、録画一覧の番組名を編集するとき（録画一覧のサブメニュー>「番組名編集」、→P34）など、文字を入力する場合に、文字入力画面が表示されます。

- 文字入力は、画面キーボードで行う方法とリモコンのキーで行う方法があります。切り換えは、メニュー>「機器設定」>「その他の設定」>「文字入力設定」で行います。（→P49）

■ 画面キーボードで文字を入力する

- ▲▼◀▶で文字を選び、決定を押します。

- 青・赤・緑・黄は、入力のモードによって機能が切り換わります。
- 緑（文字切換）を押すと、文字入力モードが切り換わります。
- **かな**：ひらがなを入力、青（変換）を押すと、変換候補が表示されます。
- **カナ**：カタカナを入力
- **英数**：英字や数字を入力

■ リモコンで文字を入力する

1 下の表のようにリモコンの1 ～ 12で文字を入力する

入力例：らっぱ

[9]、[4](6回)、[6][10](2回)
ら　っ　ぱ

- 文字に続けて**10**を押すと、濁点（゛）や半濁点（゜）の入力ができます。
- 同じボタンで文字を続けて入力するときは、次の文字の入力前に▶を押します。
- 漢字に変換しないときは、決定を押します。
- 漢字変換する場合は、▼を押して候補から選び、決定を押して確定します。次の文字を入力しても、確定されます。
- 漢字が見つからない場合は、◀▶で変換範囲を設定して、再度▼を押します。
- 途中で文字を挿入するときは、◀▶で位置を移動し、挿入する箇所から入力します。
- 入力した文字を削除するときは、黄（文字クリア）を押します。

2 決定を押して、変更を確定する

3 入力が完了したら、(決定)を押す

リモコン入力文字一覧

・最後の候補まで進むと、最初の候補に戻ります。

リモコン	入力文字の種類			
	かな	カナ	英数	数字
1	あいうえお あいうえお1	アイウエオ アイウエオ1	@．／：～— ＃＄％＊＋＝ ＾-1	1
2	かきくけこ2	カキクケコ2	abcABC2	2
3	さしすせそ3	サシスセソ3	defDEF3	3
4	たちつてとっ4	タチツテトッ4	ghiGHI4	4
5	なにぬねの5	ナニヌネノ5	jklJKL5	5
6	はひふへほ6	ハヒフヘホ6	mnoMNO6	6
7	まみむめも7	マミムメモ7	pqrs PQRS7	7
8	やゆよゃゅょ8	ヤユヨャュョ8	tuvTUV8	8
9	らりるれろ9	ラリルレロ9	wxyz WXYZ9	9
10	゛゜※2、。？ ！・（）０	゛゜※2、。？ ！・（）０	ー，；＇＂？ ！＆￥｜（） ＜＞［］｛｝０	0
11	わをんゎー ␣（スペース）	ワヲンヮー ␣（スペース）	␣（スペース）	＊
12	逆方向へ 入力※1	逆方向へ 入力※1	逆方向へ 入力※1	＃

※1　文字入力変換で通りすぎた場合に、逆方向へ戻します。

※2　濁点・半濁点は、変換後(決定)を押すと、次の文字入力に移ります。

■ 録画機能について

外付けUSBハードディスクに録画できる番組

本機に接続した外付けUSBハードディスクに録画できるのは、地上デジタル放送番組と、BS／110度CSデジタル放送番組です。外部入力からの映像、音声については録画できません。

● 録画できるのは本機で受信した放送番組です。データ放送の内容は録画できません。

外付けUSBハードディスクの接続・設定と録画前の準備

接続・設定

・本機に外付けUSBハードディスクを接続しておきます。（→P16）

録画前の準備

・残量を押して、外付けUSBハードディスクの残量（録画可能時間の目安）を確認します。

・残量不足や番組数超過になりそうな場合は、不要な番組を削除しておきます。（→P34）

● 本機に登録していない外付けUSBハードディスクでは録画できません。（→P17）

● 録画や録画予約の操作をしたときに接続した機器が選択できない場合は、16ページを参照し、接続・設定を確認してください。

● 2台同時に外付けUSBハードディスクに録画することはできません。

● 本機で動作確認済みの外付けUSBハードディスクについては、55ページをご覧ください。

録画可能時間の目安

リモコンの残量を押すと接続している外付けUSBハードディスクの残量を確認できます。録画可能時間は表示される時間よりも少なくなることがあります。

・外付けUSBハードディスクの残量時間表示は、BSデジタル放送のHD放送（24Mbps）を基準に算出しています。録画可能時間表示はあくまでも目安として確認してください。

● 外付けUSBハードディスクの最大予約件数は64件です。また、最大総番組数は3000件です。

● 録画中に、本機や外付けUSBハードディスクの電源プラグを抜いたり（停電なども含む）、USBケーブルを抜き差ししたりすると、本機や外付けUSBハードディスクの故障の原因になります。外付けUSBハードディスクの認識不良、録画番組が消去されるなど、本機の動作が不安定になる場合があります。

● 録画中に停電したり、電源プラグを抜いたりすると、途中まで録画した番組は残りません。

録画・予約をする　つづき

■ 番組表から録画予約する

1 番組表を押す

2 ▲▼◀▶で録画したい番組を選び、決定を押す

・決定のかわりに録画を押しても、録画予約を完了することができます。番組表に予アイコンが表示されます。

3 ◀▶で「録画予約」を選び、決定を押す

4 「録画予約設定」画面で「予約する」を選び、決定を押す

・「予約する」「毎週予約する」「自動録画する」「詳細設定」から選びます。

予約する

選んだ番組を1回録画します。

毎週予約する

選んだ番組と同じ時間帯の番組を毎週録画します。

自動録画する

選んだ番組と同じ番組を毎回探して録画します。

詳細設定

「見るだけ」か「録画」かを選んだり、プロテクトをかけたり、時間指定にするなど、詳細を設定しながら予約できます。（→「録画予約設定の変更」、P31）

5 「予約が完了しました。」が表示されたら、決定または戻るを押す

・番組表に録画予約済みの赤い予アイコンが表示されます。

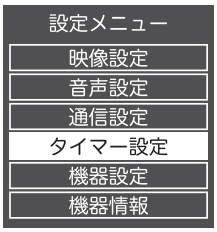
● 番組の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
● 複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。
● 予約の確認や取り消しについては、32ページをご覧ください。

■ 録画する日時を指定して録画予約する

1 メニューを押す

・設定メニューが表示されます。

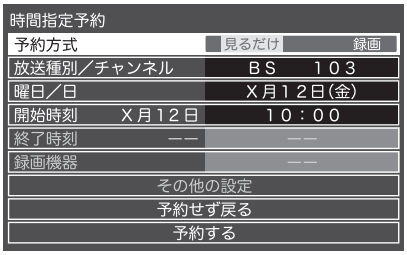
2 ▲▼で「タイマー設定」を選び、決定を押す



3 ▲▼で「日時指定予約」を選び、決定を押す

・「時間指定予約」画面が表示されます。

4 録画予約の日時やチャンネルを設定する



・設定する項目を▲▼で選び、◀▶で詳細内容を設定します。
・12か月先まで指定できます。
・設定できる最大録画時間は、23：59です。

※ 録画日時を設定するときに、開始時刻が終了時刻より先に進んでしまうと、終了時刻の日にちが自動的に次の日になります。終了時刻が開始時刻を追い越すと、元に戻ります。
終了時刻を先に設定するようにすると、これを避けることができます。

5 ▲▼で「予約する」を選び、決定を押す

・予約せずに戻る場合は、「予約せずに戻る」を選び、決定を押してください。

6 「予約が完了しました。」が表示されたら、決定を押す

● 予約の確認や取り消しについては、32ページをご覧ください。

■ 見ている番組を録画する

現在受信中のデジタル放送番組を録画します。

1 録画●を押す

- 見ている番組の録画が始まります。

※ 録画されていることを確認するには、(機能/リスト)を押して、●（録画中）のマークがついていることを確認してください。

2 録画を終了するには、停止■を押す

- 「録画を終了しますか」と表示されたら、◀▶で「はい」を選び、(決定)を押してください。

■ 録画を中止するには

録画を途中で停止するには、次のようにしてください。

1 停止■を押す

- 録画の中止を確認するメッセージが表示されます。

2 ◀▶で「はい」を選び、(決定)を押す

- 録画が停止します。

■ 録画予約設定の変更

録画予約の設定を変更するには、次の手順で行ってください。

1 (番組表)を押す

2 ▲▼◀▶で録画予約した番組を選び、(決定)を押す

3 ◀▶で「設定変更」を選び、(決定)を押す

- 「予約削除」を選択すると予約を取り消すことができます。

4 ▲▼で「詳細設定」を選び、(決定)を押す

5 ▲▼で変更したい項目を選んで変更する

予約方式

「見るだけ」「録画」を◀▶で選びます。

録画機器

録画先の外付けUSBハードディスクを表示します。録画先を変更する場合は、予約リストを表示して、サブメニューから行ってください。

その他の設定

「録画番組のプロテクト」で録画する番組を消さないよう保護できます。プロテクトされた録画番組は録画一覧に🔒が表示されます。

時間指定予約

録画終了時間を設定できます。

6 (戻る)を押し、▲▼で「修正する」を選んで(決定)を押す

- 変更が確定します。

録画・予約をする　つづき

■ 予約の確認・変更・取り消しをする

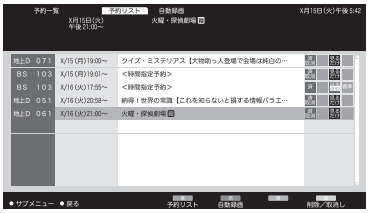
録画予約した内容の確認、取り消しができます。

1 テレビの視聴中にサブメニューを押す

・ サブメニューが表示されます。

2 ▲▼で「予約一覧」を選び、決定を押す

・ 予約リストが表示されます。
・ 赤（自動録画）を押すと、「自動録画する」に設定した予約だけが表示されます。



3 ▲▼で予約を確認する番組を選び、決定を押す

・ 予約の削除は、決定のかわりに、黄（削除／取消し）を押してもできます。

4 ◀▶で操作する項目を選び、決定を押す

設定変更

予約の設定を変更します。

予約削除

予約が削除されます。

・ 自動録画予約を削除する場合は、「次回以降の番組が予約されないようにしますか。」と聞かれます。「はい」または「いいえ」を選んで、決定を押してください。

5 「設定変更」を選んだときは、項目を選んで変更する

・ 変更する項目を選んで決定を押し、内容を変更してください。

※ 時間指定予約（毎週録画）した番組は、自動録画予約に変更することはできません。

6 変更したら、▲▼で「修正する」を選んで決定を押す

・ 変更内容が確定します。

■ 予約リストサブメニュー

・ 予約リストが表示されているときにサブメニューを押すと、予約リストサブメニューが表示され以下の項目が選択できます。

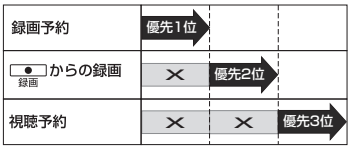
視聴制限一時解除

全履歴削除

録画予約に関するお知らせ

録画予約と他の録画や視聴予約が重なった場合、「録画予約」が優先

録画予約と他の録画や視聴予約が重なった場合、録画予約が最優先され、他の録画や視聴予約は中止、または取り消しとなります。



録画を再生する

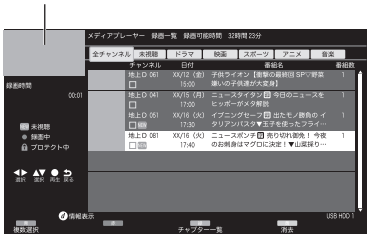
■ 録画された番組を再生する

外付けUSBハードディスクへの録画が終了した番組を視聴するには、次のようにします。

1 (録画リスト)を押す

- 録画一覧が表示されます。
- USB外付けハードディスクを切り換えるには、[サブメニュー]>「USB HDD選択」で、切り換えてください。

選択中の番組の動画が映ります。



- 録画一覧には、番組のかんたんな情報や、外付けUSBハードディスクへの録画可能時間などが表示されます。
- 録画一覧には以下のアイコンが表示されます。
  NEW：未視聴
  ●：録画中
  🔒：プロテクト中
- 番組を選んでから[青]（複数選択）を押すと、選択中の番組にチェックがつきます。選択した後、[黄]（消去）を押すと、複数の番組がまとめて消去されます。
- [緑]（チャプター一覧）を押すと選んだ番組のチャプター一覧が表示されます。

2 ▲▼で見たい番組を選び、(決定)を押す

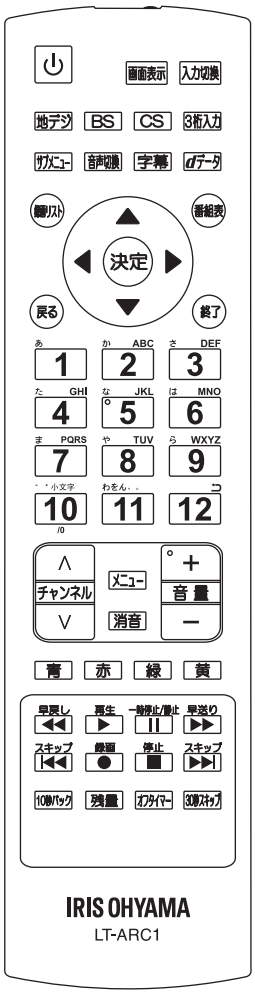
- どこから再生するかの確認画面が表示されたら◀▶で「続きから再生」「最初から再生」を選び、(決定)を押します。
- 選んだ番組の再生が始まります。（再生されるまでに時間がかかる場合があります）
- 番組の最後まで再生が終わると、録画一覧に戻ります。
- 再生中にできるリモコン操作については、右をご覧ください。

3 再生を停止させるには、[停止]または(戻る)を押す

- 録画一覧の画面に戻ります。
- 録画番組の再生を終了するときは、(終了)を押すか、選局の操作などをします。

- ● 電源を入れた直後は、外付けUSBハードディスクの認識に時間がかかることがあり、すぐに録画一覧が開かない場合があります。その場合は、しばらく待ってから再度録画一覧を開いてください。
- ● 本機で録画した番組は、本機でのみ再生できます。他のテレビ（同じ形式のテレビも含む）では再生できません。
- ● 外付けUSBハードディスクに録画した番組を再生中に、本機や外付けUSBハードディスクの電源プラグを抜いたり（停電なども含む）、USBケーブルを抜き差ししたりすると、本機や外付けUSBハードディスクの故障の原因になります。外付けUSBハードディスクの認識不良、録画番組が消去されるなど、本機の動作が不安定になる場合があります。

録画番組の再生に使用するリモコンボタン



ボタン	内容
再生 ▶	録画番組の再生を開始します。
一時停止/静止 ⏸	再生中に押すと一時停止になります。 一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。
停止 ■	再生を停止し、録画一覧に戻ります。
早送り ▶▶	早送り再生をします。（押すたびに速さが変わります）
早戻し ◀◀	早戻し再生をします。（押すたびに速さが変わります）
30秒スキップ	再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します。
10秒バック	再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します。
スキップ ▶▶|	次のチャプターまでスキップします。
スキップ |◀◀	前のチャプターまでスキップします。
(録画リスト)	再生中に押すと、録画リストに戻ります。

録画した番組を再生する　つづき

■ 録画中の番組を再生する

録画が終了するまで待たずに、録画中の番組の冒頭から再生します。

1 (録画リスト)を押す

2 録画中の番組を選び、(決定)を押す

録画一覧について

● 録画開始直後の番組は、録画一覧に表示されるまで少し時間がかかります。

■ 録画した番組を保護する

録画した番組を誤って削除しないように保護できます。

※ 録画中にこの操作はできません。

1 (録画リスト)を押す

2 ▲▼で保護する番組を選び、[サブメニュー]を押して▲▼で「プロテクト設定変更」を選び、(決定)を押す

- 選んだ番組がプロテクト（保護）されます。（🔒がつきます）
- 同じ操作でプロテクトを解除できます。

■ 録画番組の情報や番組説明を見る

1 再生中に[画面表示]を押す

再生中の番組の情報が表示されます。

2 表示を消すには、もう一度[画面表示]を押す

■ 録画した番組を消去する

1 (録画リスト)を押す

2 ▲▼で削除する番組を選び、[黄]（消去）を押す

3 確認画面で、◀▶で「はい」を選び、(決定)を押す

■ 録画一覧サブメニュー

- 録画一覧を表示中に[サブメニュー]を押すと、録画一覧サブメニューが表示され以下の項目が編集できます。

USB HDD選択：録画一覧を表示する外付けUSBハードディスクを切り換えることができます。

視聴制限一時解除：設定した視聴制限を一時的に解除することができます。

プロテクト設定変更：録画した番組にかかるプロテクト設定を変更することができます。

番組名編集：録画した番組の番組名を編集することができます。文字入力画面で編集します（→P28）

■ 複数選択して削除する

1 録画一覧の画面で[青]（複数選択）を押す

- 選んだ番組のチェックボックスにチェックが入ります。

2 [黄]（消去）を押し、◀▶で「はい」を選び、(決定)を押す

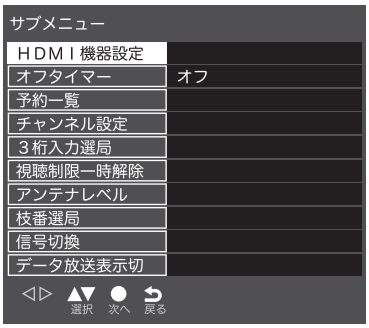
サブメニュー

メニュー画面まで移動しなくてもかんたんな設定ができたり、表示している画面に応じたさまざまな設定ができます。

■ 通常サブメニュー

画面表示がないときにサブメニューを押す

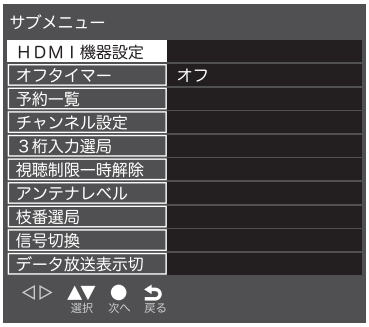
・サブメニュー画面が表示されます。



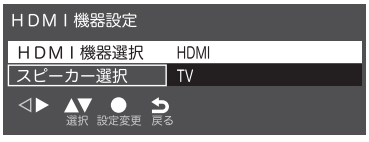
HDMI機器設定（HDMIスピーカー選択設定）

音声を本機のスピーカーで再生するか、接続したHDMI機器で再生するかを設定します。

1 サブメニューを押し▲▼で「HDMI機器設定」を選び、決定を押す



2 「HDMI機器選択」でHDMI機器を選び、決定を押す



3 「スピーカー選択」で「TV」か「外部」を選び、決定を押す

● 本機の音声を外部機器に出力する場合は、本機のHDMI 2入力端子（ARC対応）と、外部機器のARC対応HDMI端子を、ARC対応HDMIケーブルで接続してください。

オフタイマー

・自動で電源を切るよう設定できます。（→P28）

予約一覧

・視聴予約、録画予約の一覧リストを表示します。

チャンネル設定

・受信できるチャンネルを設定します。（→P47）

3桁入力選局

・数字ボタンで3桁のチャンネル番号を入力して選局します。（→P23）

視聴制限一時解除

・視聴制限を一時解除します。
・パスワードの入力が求められます。
視聴制限については、メニュー>「機器設定」>「視聴制限設定」（→P43）をご覧ください。

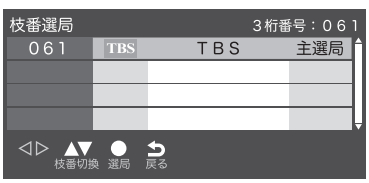
アンテナレベル

・現在視聴中のチャンネルの受信レベルを表示します。

・決定を押すと、受信中のチャンネルの一覧が表示されます。

枝番選局

・現在視聴中の放送局の枝番選局ができます。



サブメニュー　つづき

信号切換

・現在視聴中の番組の映像や音声を切り換えます。

データ放送表示切

・この項目が表示されている場合は、データ放送の表示を中止できます。

● メニューを表示したまま一定の時間が経過すると、自動的にメニュー表示が消えます。
● (戻る)を押すと、サブメニューが終了する場合と、一つ前のメニューに戻る場合があります。

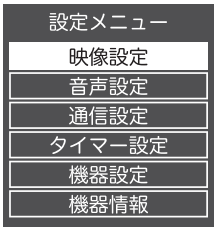
■ その他のサブメニュー

番組表サブメニュー（→P24）
予約リストサブメニュー（→P32）
録画一覧サブメニュー（→P34）

設定メニュー

■ 設定メニュー画面について

・[メニュー]を押すと設定メニュー画面が表示されます。



・▲▼で項目を選択し、(決定)を押すか、細かな調節は◀▶で行ってください。
・(戻る)を押すと、一つ前のメニューに戻ります。
・設定の項目の上または下に▲▼などが表示されている場合は、▲または▼を押していくと、別なページが表示されます。
※ メニュー画面を表示したまま一定の時間が経過すると、自動的にメニュー表示が消えます。

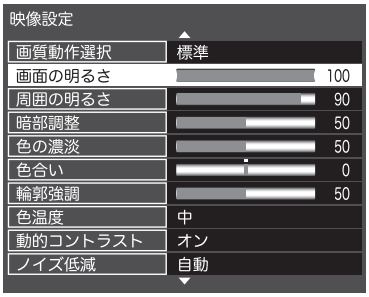
映像設定メニュー

設定メニュー一覧

分類	設定内容	設定項目	ページ
映像設定	お好みに合わせて映像を設定したり画質を調整したりできます。	画質動作選択	37
		画面の明るさ	38
		周囲の明るさ	
		暗部調整	
		色の濃淡	
		色あい	
		輪郭強調	
		色温度	
		動的コントラスト	
		ノイズ低減	
		MPEGノイズ低減	
		高度な設定	
		詳細調整	
		シネマ設定	
		画面の設定	39
		調整の初期化	40
音声設定	お好みに合わせて音声を設定したり音質を調整したりできます。	音声調整	40
		低音	
		高音	
		イコライザー	41
		バランス	
		サラウンド	
		ヘッドホン音量	
		音量自動調整	
		入力音量補正	
		デジタル音声出力	
		音声同時出力	
		HDMI音声入力	42
		調整の初期化	
通信設定	双方向サービスを利用するために必要なインターネットへの接続を設定します。	ネットワーク接続	21
		ネットワーク状態	22
タイマー設定	日時を指定した録画予約や自動で電源を入れたり切ったりする設定をします。	日時指定予約	30
		オンタイマー	27
		無操作電源オフ	42
		無信号電源オフ	
機器設定	外部機器の設定や本機のシステム設定などをします。	USB機器管理	17
		録画設定	43
		視聴制限設定	
		表示の設定	44
		HDMI設定	46
		HDMIモード	
		かんたん設定	15
		設置設定	47
		システム設定	48
		その他の設定	49
機器情報	本機のID情報を表示します。	ID表示	49

現在選択されている入力モード（テレビ、ビデオ、HDMI）の映像を、お好みの画質に調整できます。

- メニューを押し設定メニュー画面の「映像設定」を選んで決定を押します。



● 最初の「画像動作選択」の設定によっては、調整できないメニューがあります。

■ 画質動作選択

あらかじめシーンに合わせた映像設定が用意されています。お好みに合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。

自動
- 受信信号に合わせて画質を自動で調整します。

鮮やか
- 日中の明るい場所で見るときに適した設定です。

標準
- 落ち着いた雰囲気で見るときに適した設定です。

居間
- 明るいリビングで見るときに適した設定です。

映画
- 映画を見るときに適した設定です。

映画プロ
- 暗くした部屋で映画を見るときに適した設定です。

おこのみ
- 映像をお好みの画質に調整します。

映像設定メニュー　つづき

■ 画面の明るさ

・バックライトの明るさを調整します。

■ 周囲の明るさ

・設定値が低いほど明暗の差が弱まり、設定値が高いほど明暗の差が強調されます。

■ 暗部調整

・画面の暗い部分が、設定値が低いほど暗く、高いほど明るくなります。

■ 色の濃淡

・設定値が低いと色が薄く、設定値が高いと色が濃くなります。

■ 色あい

・設定値が低いと紫っぽく、設定値が高いと緑っぽくなります。

■ 輪郭強調

・設定値が低いほど輪郭がぼやけ、設定値が高いほど輪郭がくっきり表示されます。

■ 色温度

・「高／中／低」で正確な色を再現できるよう調整します。高は寒色系に、低は暖色系になります。

■ 動的コントラスト

・暗い画面で光量を小さくする調整をします。「オン／オフ」から選びます。

■ ノイズ低減

・映像の乱れを少なくします。「自動／強／中／弱／オフ」から調整します。

■ MPEGノイズ低減

・DVDやハードディスクレコーダーの長時間録画モードの映像などに出やすいノイズを軽減します。「強／中／弱／オフ」から調整します。

■ 高度な映像調整

・「入」を選ぶと、「詳細調整」ができるようになります。

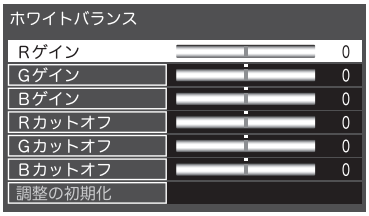
■ 詳細調整

黒伸長

・ばらつきの多い黒レベルを一定にそろえます。0から15の間で調整します。

ホワイトバランス

・RGBそれぞれのゲインとそれぞれのカットオフを−50から＋50の間で微調整します。



ガンマ設定

・映像の暗い部分と明るい部分の階調のバランスを1.8から2.6までの5段階から調整します。

●「画質動作選択」の設定によっては、高度な映像調整、詳細調整はできない場合があります。

■ シネマ設定

よりリアルに映画を楽しめるシネマリアリティの「オン／オフ」を設定します。

■ 画面の設定

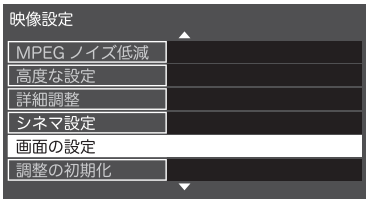
画面のサイズや位置などを調整します。

画面サイズ切替

・視聴している番組に適した画面サイズを選ぶことができます。

1 メニューを押し▲▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2 ▲▼で「画面の設定」を選び、決定を押す



3 ▲▼で「画面サイズ切替」を選んで決定を押し、▶か再度決定を押す

・「画面サイズ切替」画面が表示されます。

4 項目を選び、◀または決定を押す

自動

・自動的に画面サイズを検知して最適なサイズで表示します。お買い上げ時は「自動」に設定されています。

フル

・16：9の映像をそのままのアスペクト比で表示します。

ジャスト

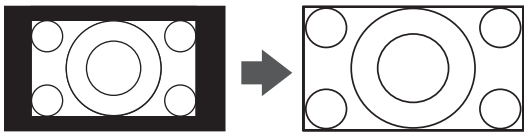
・4：3映像を画面サイズに合わせて拡大します。

ノーマル

・4：3映像をオリジナルのまま表示します。

ズーム

・上下左右に黒帯のある映像を画面いっぱいに表示します。



サイドカットフル

・サイドカットした映像をフルで表示します。

サイドカットジャスト

・サイドカットした映像の左右の拡大率を多くして、違和感のない映像に拡大します。

サイドカットズーム

・サイドカットした映像を画面いっぱいに拡大します。

オーバースキャン

・映像の周辺部が映らないようカットする機能です。

両横ノイズカット

・画面両横に見られる映像ノイズを調整します。

映像設定メニュー　つづき

垂直位置／大きさ

・画面の表示位置や大きさを調整します。

注意
- 「画面サイズ切替」が「自動」「ノーマル」「フル」「サイドカットフル」の場合は、調整できません。
- 映像の種類と画面サイズによっては、調整できない場合があります。

1 メニューを押し▲▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2 ▲▼で「画面の設定」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「垂直位置／大きさ」を選び、決定を押す

4 ▲▼で垂直位置を、◀▶で画面サイズを調整し、戻るを押す

4：3映像設定

・4：3映像の画面を「ノーマル／ジャスト」から選んで設定します。

■ 調整の初期化

「画質動作選択」で選択中の項目について、「画質の調整」で変更した項目を元に戻します。

1 メニューを押し、▲▼で「映像設定」を選んで、決定を押す

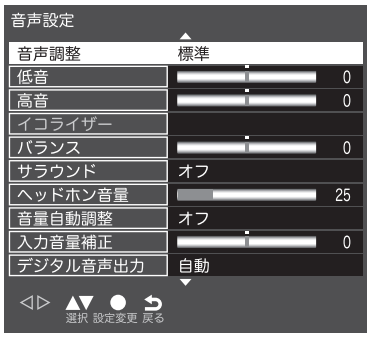
2 ▲▼で「調整の初期化」を選び、決定を押す

3 確認画面が表示されたら、「はい」を選んで、決定を押す

音声設定メニュー

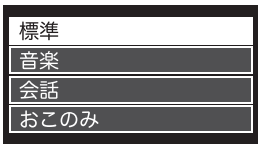
現在選択されている入力モード（テレビ、ビデオ、HDMI）の音声を、お好みの音質に調整できます。

・メニューを押し設定メニュー画面の「音声設定」を選んで決定を押します。



■ 音声調整

あらかじめシーンに合わせた音声設定が用意されています。お好みに合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。



標準
・ほとんどのシーンに合う一般的な設定です。

音楽
・音楽シーンに適した設定です。

会話
・人の声が聞き取りやすくなる設定です。

おこのみ
・音声をお好みの音質に調整します。

■ 低音

・設定値が小さいほど低音を弱く、設定値が大きいほど低音を強くします。

■ 高音

・設定値が小さいほど高音を弱く、設定値が大きいほど高音を強くします。

■ イコライザー

・周波数帯域ごとに強・弱を調整できます。

※「音声調整」を「おこのみ」に設定したときだけ有効になります。

■ バランス

・左右の音声出力のバランスを調整します。
◀を押すほど左側を大きく、右側を小さく、▶を押すほど右側を大きく、左側を小さくします。

■ サラウンド

・ステレオ音声を自然な広がり感を持ったサラウンドで再生する機能です。「オン」「オフ」で切り換えます。

■ ヘッドホン音量

・ヘッドホンで聴くときの音量を0 ～ 100の間で設定します。出荷時は25に設定されています。

● 鼓膜の保護のためヘッドホン音量を上げすぎないように注意してください。

■ 音量自動調整

・「オン」を選ぶと、音量自動調整が働きます。

■ 入力音量補正

・外部入力ごとに、音量を−6 ～+6dBの間で調整します。

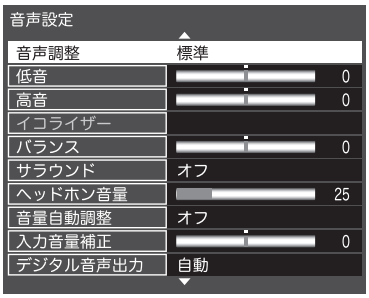
■ デジタル音声出力

光デジタル音声出力端子やHDMI 2（ARC対応）入力端子から出力する音声信号を設定します。
お買い上げ時は「PCM」に設定されています。
MPEG-2 ／ AACデコーダーやデコーダー内蔵アンプに出力するときは「自動」または「ビットストリーム」を選んでください。

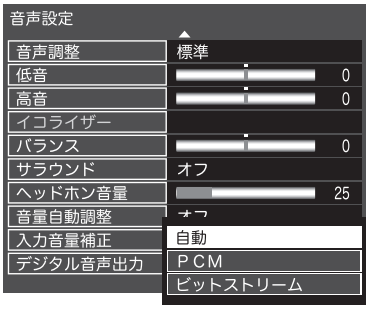
1 メニューを押し▲▼で「音声設定」を選び、決定を押す

「音声設定」画面が表示されます。

2 ▲▼で「デジタル音声出力」を選び、決定を押す



3 ▲▼で信号を選び、決定を押す



自動

・MPEG-2 ／ AACのサラウンド音声のときにはそのままで、それ以外のものはPCMに変換して出力します。

PCM

・リニアPCMに変換して出力します。MPEG-2 ／ AACデコーダーのないアンプやレコーダーに出力する場合はこれを選んでください。

ビットストリーム

・MPEG-2 ／ AACの信号がそのまま出力されます。

■ 音声同時出力（入力切換がHDMI以外のときのみ）

・音声を外部機器とテレビ本体から同時に出力するかどうかを設定します。

・「する」に設定した場合は、HDMI 2（ARC対応）」端子に接続した外部スピーカーなどの音量は、外部機器自身の音量調節で調節します。

音声設定メニュー　つづき

■ HDMI音声入力設定（入力切換がHDMIのときのみ）

・「デジタル」を選ぶとHDMIからデジタルの音声が入力されます。
・「アナログ」を選ぶと、音声のみアナログ音声入力端子の音声に切り替わります。

■ 調整の初期化

「音声調整」で選択中の項目それぞれについて、「低音」～「サラウンド」で設定した項目を元に戻します。

1 メニューを押し、▲▼で「音声設定」を選んで、決定を押す

2 ▲▼で「調整の初期化」を選び、決定を押す

3 確認画面が表示されたら、「はい」を選んで、決定を押す

通信設定メニュー

LAN端子にネットワークケーブルを接続して使用するときは、「通信設定」を行ってください。

■ ネットワーク接続

・詳細は21ページをご覧ください。

■ ネットワーク状態

・詳細は22ページをご覧ください。

タイマー設定メニュー

■ 日時指定予約

・録画する日時を指定して予約します。（→P30）

■ オンタイマー

・設定した時刻に本機の電源を入れることができます。（→P27）

■ 無操作電源オフ、無信号電源オフ

無操作や無信号が続くと、自動で電源が切れる機能です。

1 メニューを押す

2 ▲▼を押して「タイマー設定」を選び、決定を押す

3 ▲▼を押して「無操作電源オフ」または「無信号電源オフ」を選び、決定を押す

4 ▲▼で「入／切」を選び、決定を押す

無操作電源オフ

・しばらくの間無操作状態が続くと自動で電源が切れて、待機状態になります。モニターなどとして使用するときは、「切」に設定してください。

無信号電源オフ

・放送が終了したときなど、しばらくの間信号を受信しない状態が続くと自動で電源が切れて、待機状態になります。

機器設定メニュー

機器設定メニューでは外部機器の設定や初期設定、システム設定などができます。
メニュー を押し設定メニュー画面の「機器設定」を選んで 決定 を押します。

■ USB機器管理

USB機器一覧を表示し、取り外しや登録の削除などができます。（→P17）

■ 録画設定

録画をするときの設定をします。

自動予約

- 録画予約した番組を、次回放送も自動で録画予約するかどうか設定します。

※「オフ」にすると、予約設定時に「自動録画する」の設定ができません。

録画ボタン設定

- 録画 ● を押して録画したときの録画終了時間を、「番組終了／ 3時間録画」から設定します。

オートチャプター

- 録画一覧の画面で表示するチャプターを、自動で作成するかどうかを設定します。

USB HDD待機

- USB機器を待機状態にするかどうかを設定します。

■ 視聴制限設定

視聴制限の設定をします。

視聴年齢の制限を設定する

デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには、暗証番号を設定した状態で、以下の設定をする必要があります。

1 「視聴制限設定」を選び、決定 を押す

- 暗証番号を入力する画面が表示されます。

2 1 ～ 10/0 で暗証番号を入力する

- はじめて使用するときは、新しい暗証番号を入力します。

3 ◀▶で年齢を設定し、決定 を押す

- 設定できる年齢は、4才～ 19才と無制限です。

機器設定メニュー　つづき

暗証番号を設定・変更する

1 「視聴制限設定」画面で「暗証番号設定」を選び、(決定)を押す

- 「視聴制限設定」を選んで(決定)を押したときは、すでに設定してある暗証番号の入力が求められます。
- はじめて使用するときは、新しい暗証番号の入力が求められます。

2 1 ～ 10/0 で新しく設定する暗証番号を入力する

3 確認のため、新しく設定する暗証番号をもう一度入力する

4 (決定)を押す

- 暗証番号が設定されます。

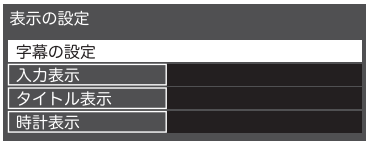
暗証番号を削除する

1 「視聴制限設定」画面で「暗証番号削除」を選び、(決定)を押す

2 ◀▶で「はい」を選び、(決定)を押す

- 暗証番号が削除されます。

■ 表示の設定



字幕の設定をする

字幕の日本語／英語表示を切り換えます。

1 「表示の設定」画面で「字幕の設定」を選び、(決定)を押す

- 「字幕の設定」画面が表示されます。

2 ▲▼で「字幕」を選び、「オン／オフ」を選び、(決定)を押す

3 ▲▼で「字幕言語」を選び、「日本語／英語」を選び、(決定)を押す

※ 設定した字幕が放送に入ってない場合は、視聴時に字幕は表示されません。

文字スーパーの設定をする

文字スーパーの設定をします。

1 「表示の設定」画面で「字幕の設定」を選び、(決定)を押す

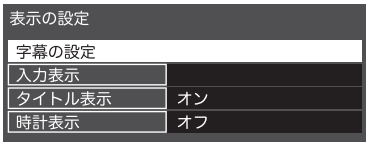
2 ▲▼で「文字スーパー」を選び、「オン／オフ」を選び、(決定)を押す

3 ▲▼で「文字スーパー言語」を選び、「日本語／英語」を選び、(決定)を押す

入力表示設定

入力切換をするときに、使っていない入力をスキップしたり、接続機器の種類を表示させたりできます。

1 「表示の設定」画面で▲▼で「入力表示」を選び、(決定)を押す



2 ▲▼で「HDMI 1」「HDMI 2」「HDMI 3」「HDMI 4」「ビデオ」から表示を変更する外部入力を選び、(決定)を押す

3 ▲▼で表示したい名称または「使用しない（スキップ)」を選び、(決定)を押す

以下の項目が選べます。

- HDMI 1・HDMI 2・HDMI 3・HDMI 4・ビデオ（変更なし）
- 使用しない（スキップ）
- ブルーレイ
- DVD
- レコーダー
- ゲーム
- CATV
- チューナー
- 表示なし

変更後 入力切換 を押したときの表示

タイトル表示

- 画面表示 を押したときに番組タイトルを表示するか「オン／オフ」で設定します。

時計表示

- 画面左下に時計を表示するかを設定します。

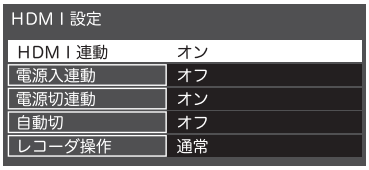
機器設定メニュー　つづき

■ HDMI設定

1 メニューを押し▲▼で「機器設定」を選び、決定を押す

2 ▲▼で「HDMI設定」を選び、決定を押す

3 ▲▼で設定する項目を選んで決定を押し、次の手順で設定する



4 戻るを押す

※ HDMI連動機器となっていても、機器によっては設定しても連動できないことがあります。

HDMI連動

- HDMIの各種連動制御を使用するかどうかを設定します。
- ▲▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押します。

電源入連動

- HDMIで接続した連動機器の電源を入れたときに、本機も自動的に電源が入ります
- ▲▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押します。

電源切連動

- 本機の電源を切ったときに、連動機器の電源が自動的にオフになります。
- ▲▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押します。

自動切

- HDMIでの操作が終わると連動機器の電源だけが自動的にオフになります。
- ▲▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押します。

レコーダー操作

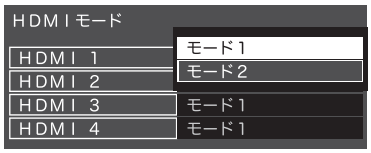
HDMI接続したレコーダーを操作するときに設定します。
- 「拡大」を選ぶと、HDMIレコーダーの種類に応じて、操作に有効なボタンが追加されます。

■ HDMIモード

HDMI接続した外部機器との伝送信号のフォーマットを変更します。

1 「機器設定」画面で▲▼で「HDMIモード」を選び、決定を押す

2 ▲▼で設定するHDMIを選び、モードを選んで決定を押す



モード１：4K／60P（4：2：0）
モード２：4K／30P（4：4：4／4：2：2）

- ４K映像を正しく伝送するためには「プレミアムHDMIケーブル」認証されたHDMIケーブルの使用をお勧めします。
- 接続した外部機器によって映像・音声がうまく映らない場合は、HDMIモードを切り替えてください。

■ かんたん設定

引っ越しなどでお住まいの地域が変わったときは「かんたん設置設定」を行ってください。（→P15）

※ 手動で設定するときは、次の「設置設定」でそれぞれの項目を設定してください。

■ 設置設定

本機を設置するときに設定します。

受信対象設定

・BSとCSを「使う／使わない」から選びます。

チャンネル設定

地上デジタル／ BS ／ CS

・引っ越しした場合などこのメニューからチャンネルを設定します。状況に応じて「初期スキャン」か「再スキャン」を選びます。
購入後はじめて設定する場合や違う地域に引っ越した場合は、「初期スキャン」を選びます。現在の内容がクリアされ、自動的に受信できるチャンネルをスキャンし、設定します。
受信できる放送局が増えたりした場合は、「再スキャン」を選びます。「再スキャン」すると、新たな放送局のみ追加されます。
「マニュアル」を選ぶか、スキャン後の画面で 緑 (入替) をお押すと、チャンネル設定修正ができます。

チャンネル設定修正

・ 1 ～ 12 に、どのチャンネルを割り当てるかを設定します。
以下の画面は「BS」を選んだときの例です。

1 ▲▼で変更したいリモコンの数字を選び、(決定)を押す

2 必要に応じて、緑 (入換) を押して変更する

3 (戻る) (終了) を押す

地域設定

お住まいの地域と郵便番号を設定しておくことにより、データ放送で、地域の情報を得ることができます。

県域設定

・▲▼で県域を選び、(決定)を押します。

郵便番号

・ 1 ～ 10/0 で郵便番号を入力します。「0」は 10/0 で入力します。

受信設定

・「地上」で地上デジタルの受信設定を、「衛星」で衛星放送の受信設定を行います。
・視聴中のチャンネルの受信レベルが表示されます。
アンテナの方向を調整をする場合は、数字を見て調整してください。(→P16)
受信レベルが高い場合は、「アッテネーターの設定」で「オン」を選んでください。
※ 物理チャンネルは視聴中のチャンネルの物理チャンネル番号を表示します。通常は、この設定は変更しないでください。

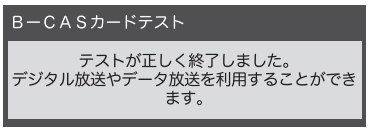
機器設定メニュー　つづき

高速起動

電源を入れたときの起動を高速にするかを「入／切」で選びます。
※「入」に設定すると、待機消費電力は増加します。

B-CASテスト

本機にセットされているminiB-CASカードの状態をテストします。正常な場合は「テストが正しく終了しました。デジタル放送やデータ放送を利用することができます。」と表示されます。



■ システム設定

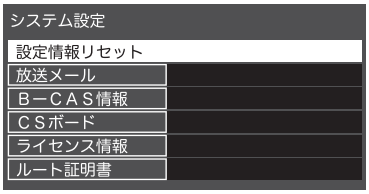
B-CAS情報やルート証明書などを表示したり、放送メールを確認したりできます。

設定情報リセット

本機の廃棄を目的に、すべての設定情報を削除します。登録した機器の情報も失われるため、外付けUSBハードディスクに録画した番組は見ることができなくなります。
ただし、暗証番号は消去されませんので事前に視聴制限設定で暗証番号を削除してください。

1 ▲▼で「システム設定」を選び、(決定)を押す

2 ▲▼で「設定情報リセット」を選び、(決定)を押す



3 ◀▶で「はい」を選び、(決定)を押す

注意
- 初期化を行うと、初期化前の状態に復元することはできません。

放送メール

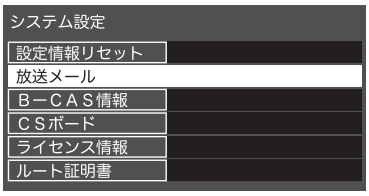
放送メールには、「放送局からのお知らせ」と「本機に関するお知らせ」があります。
未読のお知らせがあると、画面表示を押したときに画面に「お知らせアイコン」が表示されます。

1 メニューを押す

2 ▲▼で「機器設定」を選び、(決定)を押す

3 ▲▼で「システム設定」を選び、(決定)を押す

4 ▲▼で「放送メール」を選び、(決定)を押す



5 ▲▼で放送メールの種類を選び、(決定)を押す

放送局からのお知らせ
デジタル放送局からのお知らせです。

本機に関するお知らせ
予約などについて本機が発行したお知らせです。

6 ▲▼で読みたい放送メールを選び、(決定)を押す

- 「放送局からのお知らせ」は、地上デジタルが7通まで記憶され、BSデジタルと110度CSデジタルは、合わせて24通まで記憶されます。（放送局の運用によっては、それよりも少ない場合もあります）記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
- 「本機に関するお知らせ」は既読の古いものから順に削除される場合があります。

B-CAS情報

- B-CASカードの識別番号などを表示します。

CSボード

・110度CSデジタル放送からの視聴者に向けたお知らせです。各50通まで表示されます。

ライセンス情報

本機のライセンス情報を表示します。

ルート証明書

ルート証明書を表示します。ルート証明書は、地上デジタル放送の双方向サービスで、本機と接続するサーバーの認証をする際に使用されます。

■ その他の設定

文字入力設定などその他の設定です。

文字入力設定

入力方法

・リモコンのボタンで入力するか画面に表示されるキーボードで入力するかを選びます。

変換方式

・通常方式か予測方式かを選びます。

選局対象

・選局対象を「設定チャンネル」「テレビのみ」「全チャンネル」から選びます。

設定チャンネル

チャンネル設定で設定したチャンネル

テレビのみ

独立データ放送を除くテレビ放送のみ

全チャンネル

放送されているすべてのチャンネル

機器情報

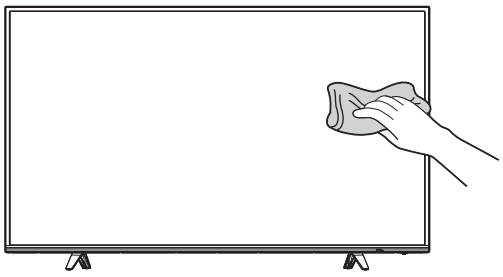
■ ID表示

・この機器のID情報などを確認することができます。

お手入れ

本体

乾いた布で拭く



※ 汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取った後は乾拭きしてください。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状　態	考えられる理由	処　置
画面上に赤や青、緑に点灯したままの点や、点灯しない黒い点がある	● 液晶パネルは非常に精密な技術で作られていますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。	● 故障ではありません
キャビネットから「ピシッ」いうきしみ音がする	● 部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。	
本機の内部から「カチッ」という音がする	● 本機は、電源が待機状態のときに番組情報取得などの動作をします。このときに、内部から「カチッ」という音が聞こえることがあります。	
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	● 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
リモコンが操作できない	● リモコンを本機のリモコン受光部に向けていない ● 直射日光や照明の強い光がリモコン受光部に当たっている	● リモコン受光部に強い光を当てないでください。
	● 乾電池が消耗している	● 新しい乾電池に交換してください。（→P10）
	● 乾電池の極性（⊕ ⊖）が逆になっている	● 正しく入れ直してください。（→P10）
突然電源が切れた	● オフタイマーを設定していた	● オフタイマーの設定を確認してください。（→P28）
	● 操作しない状態や信号を受信しない状態が長く続いている	● タイマー設定の「無操作電源オフ」や「無信号電源オフ」の設定を確認してください。（→P42）
テレビの映像が出ない	● アンテナケーブルが正しく接続されていない	● アンテナケーブルの接続を確認してください。
	● 明るさが正しく調整されていない	●「画面の明るさ」や「周囲の明るさ」を調整してください。（→P38）
外部機器の映像が出ない	● 外部機器と正しく接続されていない	● 外部機器の接続と電源を確認してください。

映像も音声も出ない	● 電源が入っていない	● 電源を入れてください。
	● 入力切換が合っていない	● リモコンまたは本体のマルチ操作ボタンの入力切換操作で、入力を切り換えてください。（→P26）
映像や音声が出ない	● 接続した外部機器の伝送信号のフォーマットが合っていない	● メニュー>「機器設定」>「HDMIモード」の設定を変更してみてください。（→P46）
映りが悪い 映像や音声にノイズが混じる 映像や音声が出なくなることがある 映像が静止することがある	● アンテナケーブルが正しく接続されていない ● アンテナの向きが、風や振動によって変わっている	● アンテナを調整し直し、確実に固定してください。
	● アンテナケーブルが劣化している	● 販売店にご相談ください。
	● 天候による電波の減衰や、強風時にアンテナが揺れている	● 雷雨や豪雨の中では、受信電波が弱くなり、また雪がアンテナに積もると受信状態が悪くなるため、一時的に映像や音声が止まったり、場合によってはまったく受信できなくなったりすることがあります。天候の回復を待ってください。
色あいが悪い、色が薄い	● 色の濃さ、色あいが正しく調整されていない	●「色の濃淡」や「色あい」を調整してください。（→P38）
画面が暗い	● 明るさが正しく調整されていない	●「画面の明るさ」や「周囲の明るさ」を調整してください。（→P38）
テレビや外部機器の音声が出ない	● 音量が最小になっている	● 音量＋ボタンで音量を調整してください。
	●「消音」状態になっている	● 消音ボタンを押して消音を解除してください。
	● ヘッドホンが接続されている	● ヘッドホンを抜くか、メニュー>「音声設定」>「音声同時出力」の設定をしてください。（→P41）
地上デジタル放送が受信できない	● miniB-CASカードが正しく挿入されていない	● 付属のminiB-CASカードの挿入方向を確認して、カチッと音がするまで挿入してください。
BS ／ 110 度 CS デジタル放送が受信できない	● 付属のminiB-CASカードが挿入されていない	● 他のテレビに付属のmini-B-CASカードを使用した場合は、BS ／ 110度CSデジタル放送が受信できないことがあります。必ず本機に付属のminiB-CASカードを使用してください。
110 度 CS デジタル放送が受信できない	● 110度CSデジタル放送に対応したアンテナやケーブルが使われていない	● 110度CSデジタル放送に対応したアンテナやケーブルを使用してください。

故障かな？と思ったら　つづき

引っ越ししたら、地上デジタル放送が受信できなくなった	● 地域によって放送局のチャンネルが変わる	●「設置設定」の「チャンネル設定」をやり直してください。（→P47）
番組表が表示されない 表示される チャンネルが少ない	● お買い上げ時、または長時間電源を切った状態の後は、番組表の表示に時間がかかる場合がある	● しばらく視聴すると表示されます。
USB ハードディスクが認識されない	● 本機に対応した外付けUSBハードディスクを使っていない	● 本機で動作確認済みの機器をお勧めいたします。動作確認済み機器については、55ページをご覧ください。
	● 外付けUSBハードディスクが正しく接続されていない	● 外付けUSBハードディスクを正しく接続してください。（→P16） USBハブを経由した場合は正しく動作しないことがあります。
	● 外付けUSBハードディスクが本機に登録されていない	● 外付けUSBハードディスクを本機に登録してください。（→P17）
録画できない	● 外付けUSBハードディスクの電源が入っていない	● 電源オンが必要な外付けUSBハードディスクの場合は、電源をオンにしてください。
	● 外付けUSBハードディスクの空き容量が不足している	● 不要な番組を削除してください。（→P34）
	● 録画できない映像である	● コピー禁止の番組や、独立データ放送、外部入力からの映像・音声は録画できません。
	● 放送開始時刻が変更されている	● 録画予約した番組の放送開始時刻が繰り上げられた場合は録画できません。放送開始時刻が変更になり録画できなかった場合は、メニュー>「機器設定」>「システム設定」>「放送メール」で確認できます。（→P48）
録画した番組が再生できない	● 本機以外で再生している	● 本機で録画した番組は、本機以外ではご覧になれません。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

警告 ● 自分で分解・修理・改造しないでください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

仕様

品名		ハイビジョン液晶テレビ			
品番		LT-65A620	LT-55A620	LT-49A620	LT-43A620
画面サイズ		65V型	55V型	49V型	43V型
本体	寸法	幅1466.7× 奥行283.7× 高さ911.2mm	幅1242.9× 奥行295.6× 高さ787.7mm	幅1104.2× 奥行295.6× 高さ711.1mm	幅974.5× 奥行227.3× 高さ628.1mm
	質量	22.0kg	13.8kg	11.5kg	9.4kg
チューナー	受信チャンネル	地上デジタル：UHF（13 ～ 62ch）　CATVパススルー対応			
		BSデジタル：BS000 ～ BS999			
		110度CSデジタル：CS000 ～ CS999			
	チューナー数	地上デジタル×2、BS・110度CSデジタル×2※1			
画素数（水平×垂直）		3840×2160			
コントラスト比（標準値）		1200：1	3000：1	1100：1	
応答速度		8.0ms Gray to gray（BW）		9.0ms Gray to gray（BW）	
視野角（最小値）		左右約176°（TYP）／上下約176°（TYP）		左右約178°（TYP）／ 上下約178°（TYP）	左右約176°（TYP）／ 上下約176°（TYP）
スピーカー	チャンネル	2チャンネル			
	音声出力	10W＋10W			
入出力端子	アンテナ端子	地上デジタル×1 ／ BS・110度CSデジタル×1			
	AV入力	RCA×3（映像、左音声、右音声）			
	HDMI端子	HDMI（Ver.2.0標準規格）×4、ARC対応（HDMI 2）、CEC対応			
	HDMI対応入力解像度	480i、480p、720 ／ 60p、1080 ／ 60i、1080 ／ 24P、 1080 ／ 30P、1080 ／ 60P、4K 24Hz ／ 30Hz ／ 60Hz			
	音声出力	φ3.5mmステレオヘッドホンジャック×1			
		光デジタル音声出力×1			
	LAN	LANポート（RJ45）×1 ※データ放送用			
	USB（録画専用）	USB2.0 端子×1、USB3.0 端子×1			
データ放送		双方向データ放送（Broadcast Markup Language）対応			
番組表		電子番組表（EPG）対応：7チャンネル6時間分表示／ 8日分受信			
録画機能 ※ハードディスク（別売）がないとできません。		裏番組録画・留守録対応			
		最大録画予約件数：64			
		最大録画番組数：3000			
電源	電源電圧	AC100V　50 ／ 60Hz			
	消費電力	210W	140W	106W	115W
	待機電力	0.5W			
	年間消費電力量※2	273kWh ／年	180kWh ／年	170kWh ／年	142kWh ／年
	省エネ達成率	115%	138%	122%	119%
使用環境		温度：0℃～ 40℃／湿度：20% ～ 80% RH（結露なきこと）			
壁掛け金具（別売）ねじ穴寸法		300mm×200mm 本体側固定用ねじ：PM6×25mm（本体付属）		200mm×200mm 本体側固定用ねじ：PM6×25mm（本体付属）	
付属品		スタンド×2、スタンド固定用ねじ×4、電源コード×1、 リモコン×1、リモコン用単4形乾電池（テスト用）×2、 miniB-CASカード×1、miniB-CASカードスロットカバー×1、カバー用ねじ×1			

リモコン

品番	LT-ARC1
電源	DC3V（単4形乾電池×2）
質量	約95g（乾電池含まない）
操作距離	約8m（直進）

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。
※1　ダブルチューナー機能搭載のモデルにおいても、1つは番組視聴専用チューナーのため、2番組同時録画には対応していません。
※2　年間消費電力量とは：省エネ法に基づいて、1日あたり4.5Hの動作時間／ 19.5Hの待機時間（電子番組表取得時間を含む）で算出した、1年間に使用する電力量です。
※ このテレビは日本国内専用です。海外では使用できません。

動作確認済み外付けUSBハードディスク一覧

動作確認済み外付けUSBハードディスクは以下の通りです。

発売元	製品シリーズ名
エレコム社製	ELD-ERTUBKシリーズ／ SGD-NXUシリーズ／ ELD-QENUBKシリーズ
BUFFALO社製	HD-NRLCシリーズ
当社（アイリスオーヤマ）製	HD-IRシリーズ

上記機器との動作を保証するものではありません。

本機は、株式会社ACCESS のNetFrontBrowser を搭載しています。
ACCESS、NetFront は、日本国及びその他の国における株式会社ACCESS の商標または登録商標です。
©2009 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、及びHDMIロゴ は、米国及びその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋２丁目12番１号
ホームページ http://www.irisohyama.co.jp/

製品及び修理に関するお問い合わせは
アイリスコール（通話料無料） **0800-919-0770**
受付時間　平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 ／ 13:00～17:00
（年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

ＦＡＸでのお問い合わせは（通信料無料） **0800-888-2600**

Web からのお問い合わせは **https://www.irisohyama.co.jp/support/**
メールフォームにご記入のうえ送信してください

230120-KTK-KTK-01
P230120-KTK-KTK-01